

電子納品図面作成支援ツール

Bigvan al-Nil 2026

ビッグバン アルニール

SXF Hyper-Converter (SXF ハイパーコンバーター)

- ◆ 既存図面の工種と図面種別を自動判別
- ◆ 自動レイヤ振り分け機能
- ◆ CAD製図基準図面チェック・自動修正機能
- ◆ al-Nilを強化するオプション

工種テンプレートオプション
完成平面図作成支援オプション

CADオプション

ラスタオプション
PDF入力オプション
GIS入出力オプション
拡張土木オプション
地図XML入力オプション
地理院タイル入力オプション
概略道路設計オプション
3D構造物作成オプション
3Dプランオプション
点群入力オプション

ビッグバン アルニール

Bigvan al-Nil CAD 2026

SXF Hyper-Converter (SXF ハイパーコンバーター)

- ◆ DWG図面入出力において高い互換性
- ◆ 3次元データ対応
- ◆ 作業効率を向上させる機能多数搭載
- ◆ al-Nil CADを強化するオプション

完成平面図作成支援オプション
ラスタオプション
PDF入力オプション
GIS入出力オプション
拡張土木オプション
地図XML入力オプション
地理院タイル入力オプション
概略道路設計オプション
3D構造物作成オプション
3Dプランオプション
点群入力オプション

- ◆ サブスクリプション版登場

年間契約でCAD基本機能が使用可能

電子納品図面変換に革命をもたらした“SXF Hyper Converter”

発売以来、電子納品図面変換作業に大幅な改善をもたらした『Bigvan al-Nil』。

CAD図面をCAD製図基準に則した電子納品図面に自動変換させる“SXF Hyper Converter”です。

CADデータの内容を解析し、設計工種や図面種別の判別、レイヤ振り分け、図面チェックおよび修正までの一連の作業が簡単に行えます。

al-Nil 2026 Lineup

al-Nil 2026

高度なファイル変換機能と電子納品向けデータ作成を強力にサポートするレイヤ振り分け機能とCAD製図基準チェック機能を搭載しています。

al-Nil CAD 2026

オブジェクト指向な操作体系でSXFデータ構造とDWGデータ構造を合わせたハイブリットCADになります。多彩なオプションを追加することで専用CADとしても利用可能です。

al-Nil CAD サブスクリプション版

al-Nil CADを年間契約でリーズナブルにご利用いただけます。契約期間内であれば常に最新版をご利用いただく事が可能です。

※ご使用にはインターネット接続環境が必要となります

追加オプション一覧

al-Nil専用	CADオプション
al-Nil/al-Nil CAD	完成平面図作成支援オプション
al-Nil+CADオプション al-Nil CAD	ラスタオプション
	PDF入力オプション
	GISファイル入出力オプション
	拡張土木オプション
	地図XML入力オプション ※1
	地理院タイル入力オプション ※1
	概略道路設計オプション ※1
	3D構造物作成オプション
3Dプランオプション ※1	
点群入力オプション ※2	

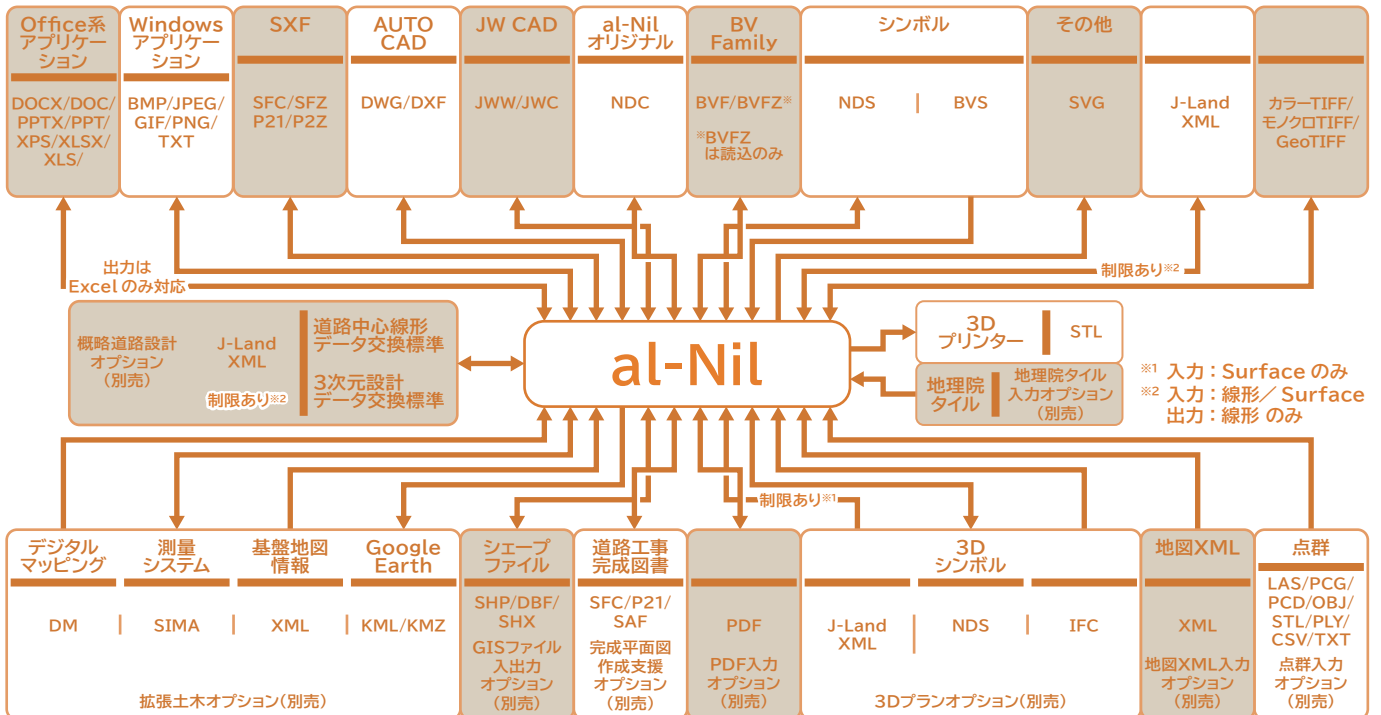
※1 ご使用には拡張土木オプションが必要となります

※2 ご使用には3Dプランオプションが必要となります

× サブスクリプション版にはオプション搭載できません

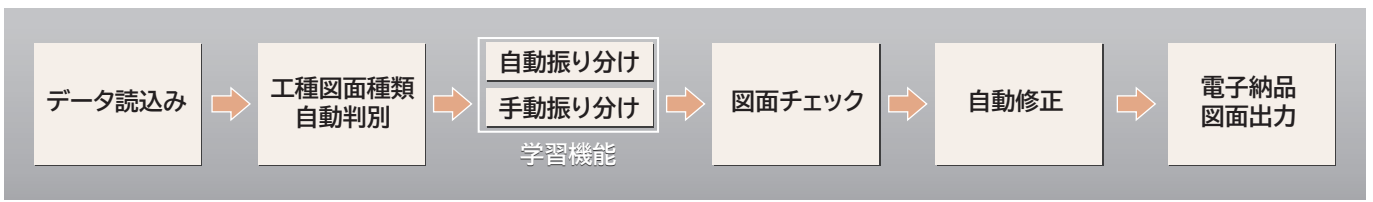
高精度なファイル交換を実現

多くのファイル形式に対応するCADシステムは現在一般的になりました。しかし日常業務においてデータ交換時のトラブルに多くの時間を取られる場合が少なくありません。al-Nilは高精度なファイル交換機能を搭載し、手間のかからないデータ交換を実現しています。



『レイヤ自動振り分け機能』搭載

処理の流れ



レイヤ振り分け

自動振り分け機能

ビッグバンが独自に開発した『図面形状認識技術』により、CAD製図基準に準拠したレイヤに自動振り分けができます。

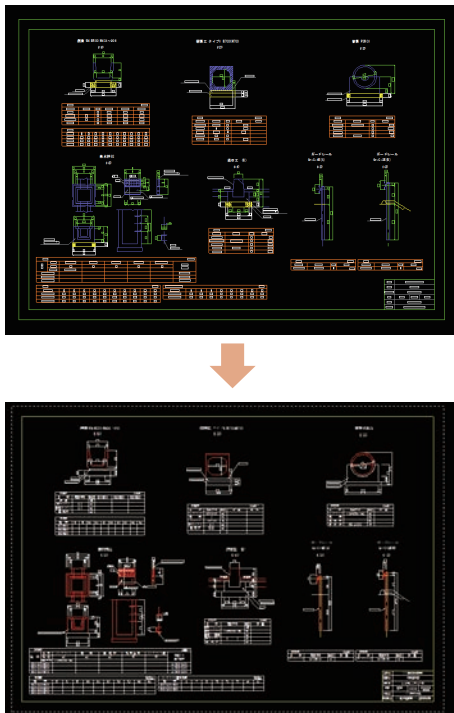
材 料	規 格	計 算 式	数 量
コンクリート	18-8-25	-0.402×0.15×2	0.48m ³
型 枠	小 型	+0.40×5×0.15	5.96m ²
基面整正		1.00×1.00	1.00m ²
補強鉄筋		0.80×4×0.995	3.18 kg

材料表の場合：形状認識し『MTR』『MTR-FRAM』『MTR-LINE』『MTR-TXT』へ自動で振り分け

CAD製図基準チェック

自動修正

CAD製図基準に準拠しているかチェックし、『色』『線種』『線幅』『文字高』『フォント』『禁則文字』の修正箇所を自動修正できます。



レイヤ名	色	種	幅	高	F	禁
<input checked="" type="checkbox"/> D-STR	×	×	○	-	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> D-BGD	×	×	○	-	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> D-BMK	×	×	○	-	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> D-MTR-LINE	×	×	○	-	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> D-MTR-FRAM	×	×	○	-	-	-
<input type="checkbox"/> D-TTL-LINE	○	○	○	-	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> D-TTL-FRAM	×	×	○	-	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> D-TTL	×	×	×	○	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> D-STR-HTXT	×	×	×	×	○	○
<input checked="" type="checkbox"/> D-STR-TXT	×	-	-	×	×	○
<input checked="" type="checkbox"/> D-MTR-TXT	○	-	-	×	×	○
<input checked="" type="checkbox"/> D-TTL-TXT	○	-	-	×	×	○
<input checked="" type="checkbox"/> D-STR-DIM	×	○	○	×	○	○

エラー内容をXMLやテキストへ出力可能

工種テンプレート オプション

レイヤ振り分けや、CAD製図基準チェック・修正を行うには、工種に対応するテンプレートが必要になります。
工種別、図面種別に工種テンプレートオプションを用意しています。(国土交通省 道路設計、営繕は標準搭載)

■ 工種テンプレートA 国土交通省

年度

平成16年6月版・平成20年5月版・平成28年3月版・平成29年3月版

CAD製図基準

道路設計、地下構造物設計、地下駐車場設計、トンネル設計、橋梁設計、河川構造物設計、海岸構造物設計、砂防構造物設計、ダム本体構造設計、都市施設設計、地質

官庁営繕

平成14年11月版

道路工事完成図

平成20年3月版・平成29年3月版

■ 工種テンプレートB 機械設備工事編

国土交通省

平成18年3月版・平成24年12月版・平成29年3月版

工種

水門設備、揚排水ポンプ設備等

農林水産省

平成19年4月版・平成26年3月版・平成31年3月版

工種

水門設備、揚排水ポンプ設備、除塵設備、バルブ設備、鋼製付属設備

■ 工種テンプレートC 港湾局

国土交通省

平成17年3月版・平成20年7月版・平成23年3月版・平成29年3月版・平成30年3月版・令和2年3月版・令和4年3月版・令和5年3月版

工種

港湾構造物設計

■ 工種テンプレートD 農林水産省

年度

平成17年度4月版・平成23年3月版・平成31年3月版

工事完成図書電子納品要領(案)

頭首工・ポンプ場実施設計、用水路(開水路)実施設計、水路トンネル実施設計、排水路実施設計、パイプライン実施設計、農道実施設計、農道橋実施設計、ほ場整備実施設計、地すべり実施設計、ため池改修実施設計

■ 工種テンプレートE NEXCO

年度

平成17年度4月版・平成17年4月版(複合)・平成25年7月版・平成25年7月版(複合)・平成27年7月版・平成27年7月版(複合)・平成29年9月版
調査等業務の電子納品要領(案)

各項目共通、道路設計、連絡等休憩施設設計、舗装設計、橋梁設計、橋梁下部設計、橋梁上部設計、トンネル設計、標識設計、造園設計

■ 保守会員様 無償テンプレート

年間保守契約期間中の会員様へ無償で提供しております。

国土交通省

電気通信設備編

電気通信設備

国土交通省

測量成果

測量成果

■ 工種テンプレートF 下水道事業団

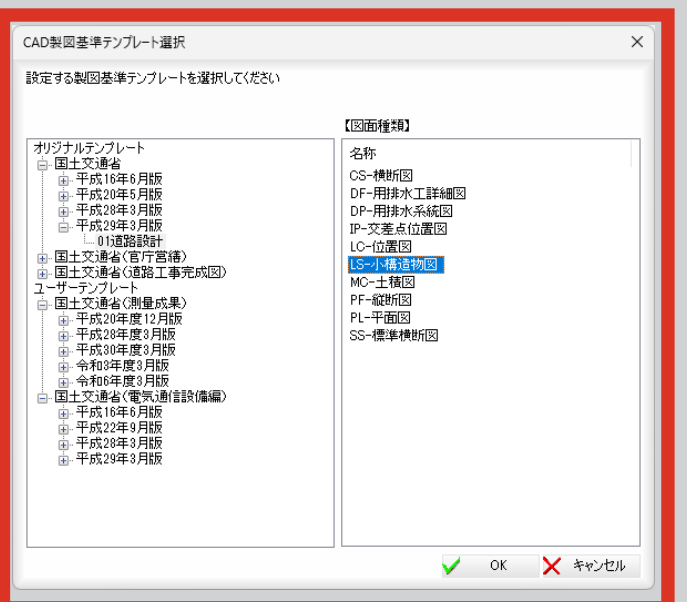
年度

平成20年4月版・平成21年6月版・平成24年4月版・平成30年4月版

日本下水道事業団

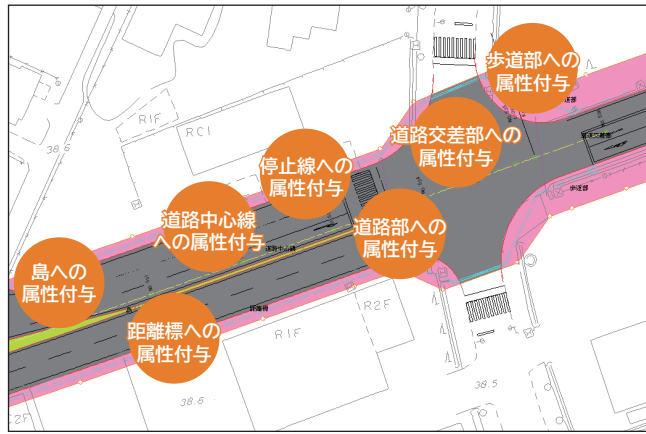
下水道施設CAD製図基準

共通、土木、建築、建築機械設備、建築電気設備、機械設備、電気設備、下水道基本構想、公共下水道全体計画、下水道法事業認可設計、都市計画決定、都市計画事業認可



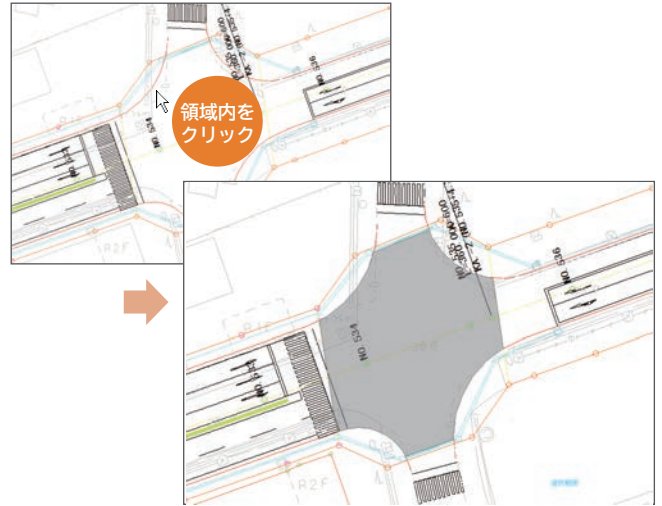
完成平面図作成支援 オプション

国土交通省策定『道路工事完成図等作成要領』に基づいた完成平面図業務をサポートします。
 座標設定から各種データのチェックまでの一連の作業を実施できます。



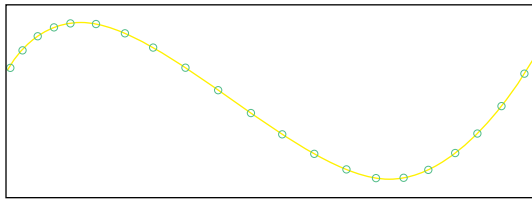
閉領域自動認識機能

閉領域を自動認識し、面属性を簡単に属性入力できます。



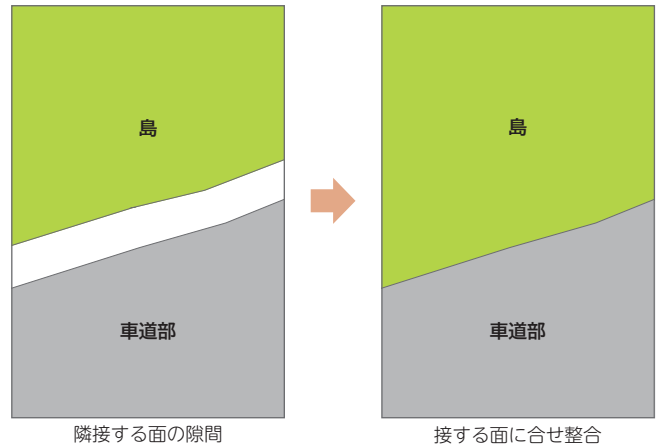
曲線分解

楕円弧、スプライン、クロソイド曲線などを折線に分解できます。



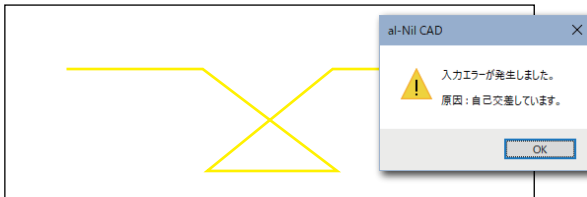
面整合

隣接する面属性同士の隙間を整合します。



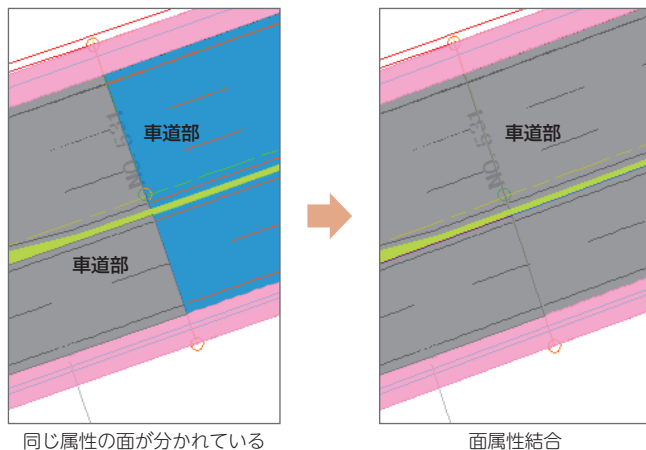
自己交差チェック

自己交差する折れ線に対して、エラーを表示できます。



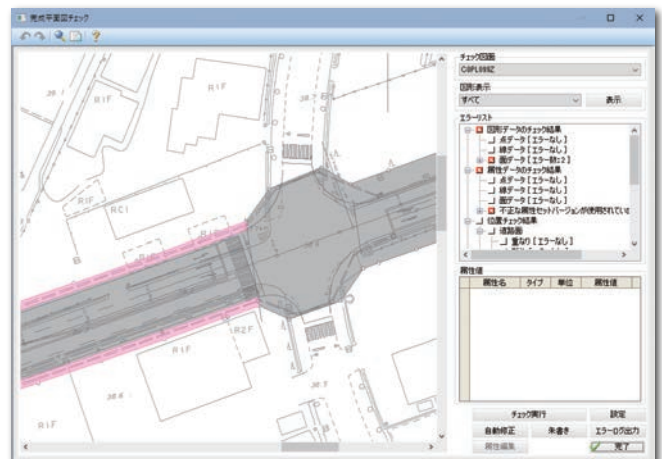
面結合

隣接する同じ面属性同士を結合します。



属性チェック

正しく属性が付加されているかチェックします。また、エラーについては自動修正ができます。



コマンドツールバー

クラシックスタイルでは、コマンドツールバー1~4で日本語メニューを表示できます。

線	円・弧	移動	複写
ボックス	スプライン	変形	線
正多角	平行線	図形編集	ボックス
角度線	円接線	ハッチング	平行線
オフセット	文字	正多角	オフセット
コーナー	寸法線	中心線	線延長
線延長	寸法編集	スプライン	コーナー
部分消し	面取り	部分変更	面取り
線編集	部分変更	部分消し	削除
ハッチング	ルフトガ	カチン	円・弧
	円接線	円接線	3点円弧
複写	移動	文字	文字入力
変形	回転	文字	寸法線
削除	図形編集	露性図形	寸法編集
露性図形	ラスタ	G設定	ラスタ
複合図形	レイアウト	G解除	ラスタ登録
オブジェクト	オブジェクト	レイアウト	シート編集
点	演算	点	演算

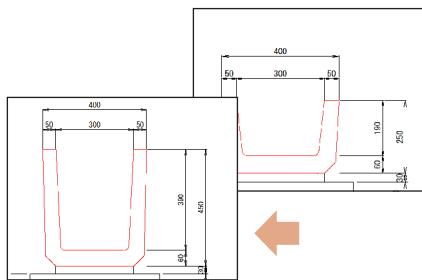
クラシックスタイル

al-Nil誕生当初のクラシックメニューです。スタイル変更でクラシックスタイルに変更できます。



伸縮図形

指定した寸法値に数値を入力すると、図形と寸法値を同時に伸縮することができます。



座標 機能強化

マウスでクリックした位置の面データ上の標高値を表示する機能を追加しました。



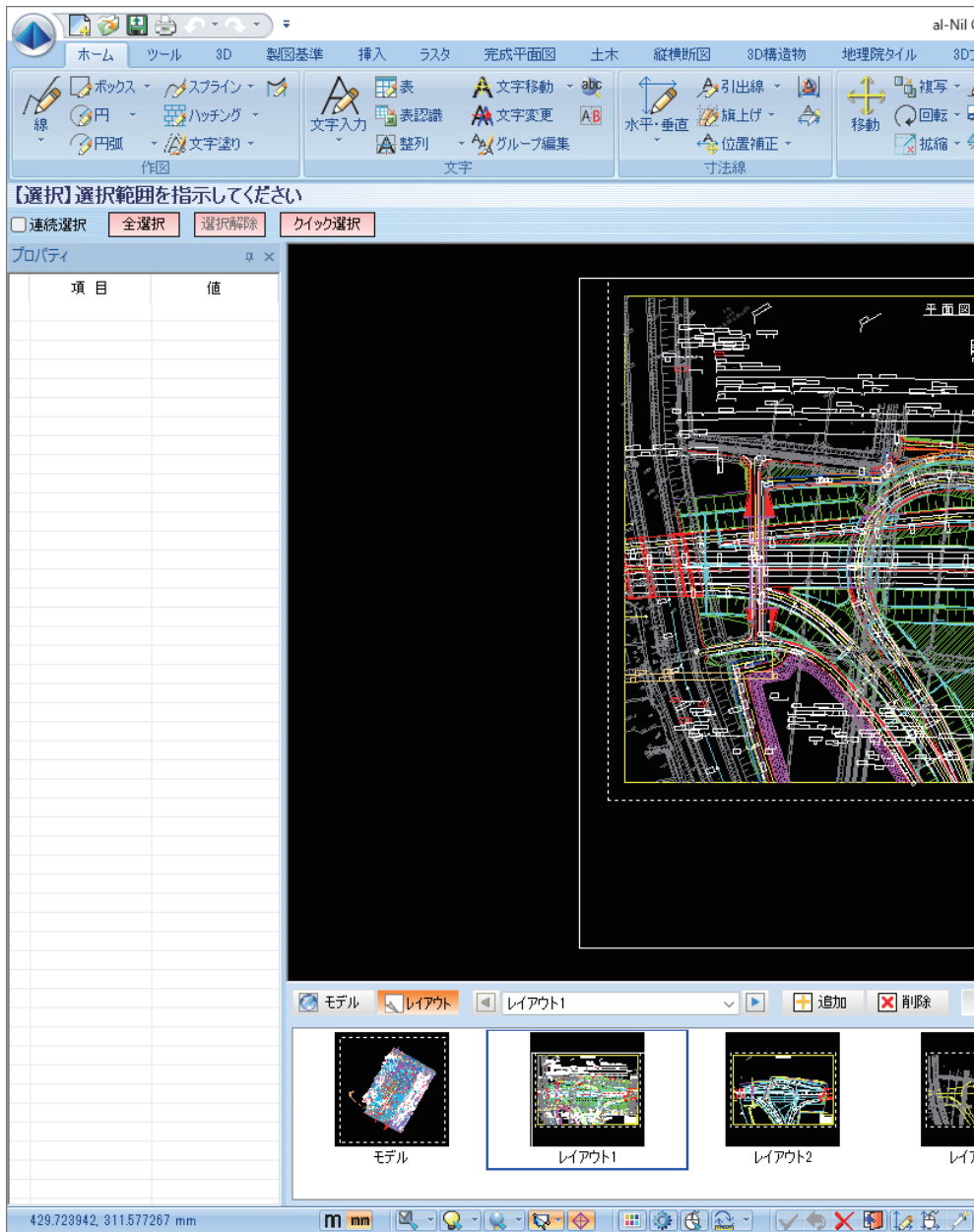
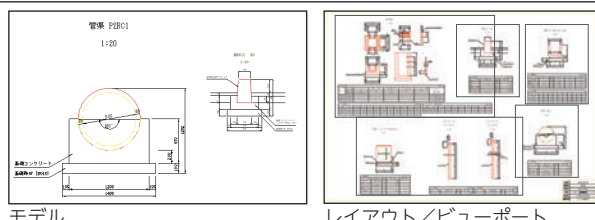
CAD⇔Excel連携

Excelから表をインポートして表要素として配置します。配置した表要素をal-Nil CAD上で編集することができます。



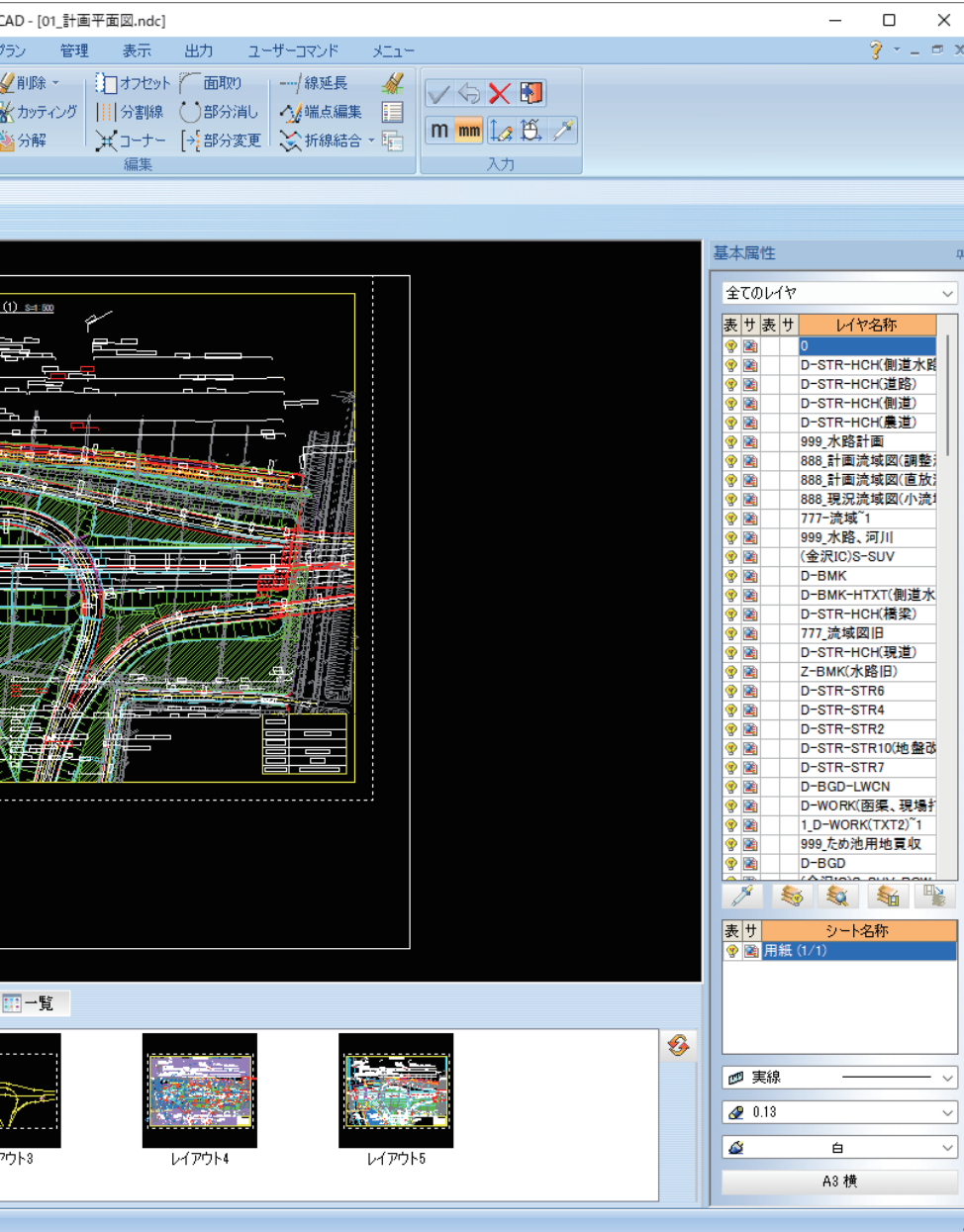
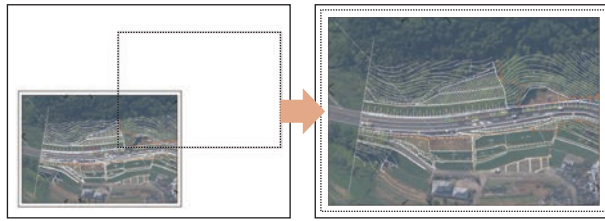
DWGデータ構造

DWGの作図概念であるモデル/レイアウト/ビューポートのデータ構造を搭載。モデル(1/1)で作図を行い、レイアウト上でビューポートによる縮尺操作ができます。



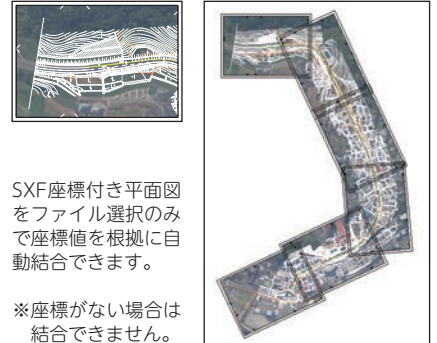
印刷範囲の設定

ワンクリックで作図要素を印刷範囲のセンターに収めることができます。



図面合成

座標情報から図面を自動で合成できます。

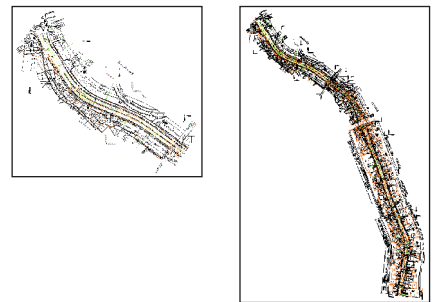


SXF座標付き平面図をファイル選択のみで座標値を根拠に自動結合できます。

※座標がない場合は結合できません。

図面合成(DWG)

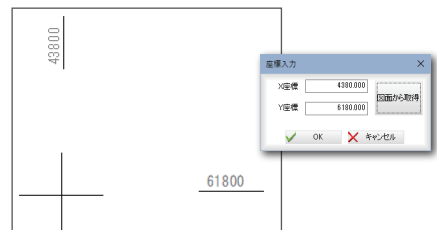
現在の図面にDWG・DXFの図面を自動で合成できます。



座標設定

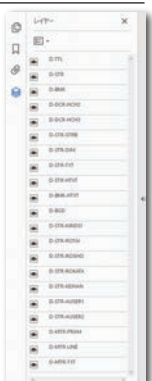
数学系/測地系の切り替えの他、「2点と座標」、「2点と距離」などの指定によりCAD図面の座標設定及び部分図(縮尺)変更などができます。

図面から取得機能



PDF出力/PDF一括変換

フォルダー内のDWG、SXFなどのCADデータをファイル選択から一括でPDFデータに出力できます。レイヤ分けされたCADデータをPDFデータへ出力する事でレイヤ付PDFデータを作成できます。レイヤ分けされたPDFデータはAcrobat Readerで閲覧時にレイヤのON、OFFの切り替えができます。



図面表題欄情報属性付加

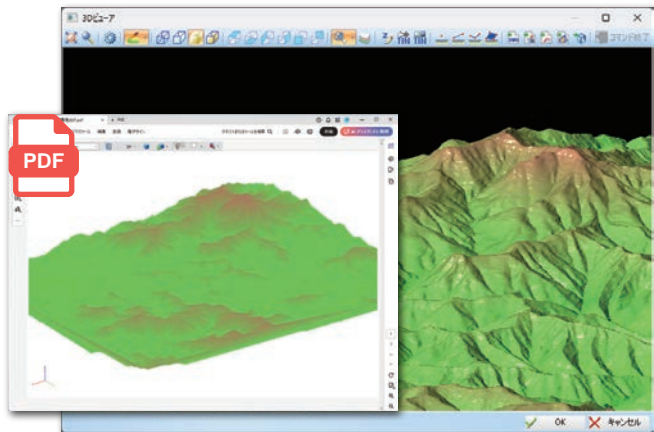
複数図面に一括で図面表題欄属性を付加することができます。
農林水産省の枝番に対応しました。

工事名	令和5年度 〇〇〇〇事業 〇〇〇〇 (No.1~No.20) 〇〇〇〇工事
図面名	計画平面図
作成年月日	令和6年1月25日
尺度	図面番号 3 - 1 / 3
会社名	〇〇建設
事業(務)所名	農林水産省



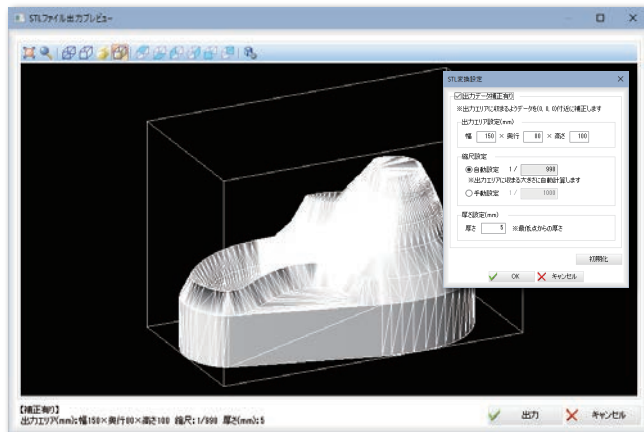
3Dビューア

3次元データを3D表示できます。
 また、3D PDFやJ-LandXML(Surface)に出力することができます。
 点群入力オプションで読み込んだ点群データを表示できます。



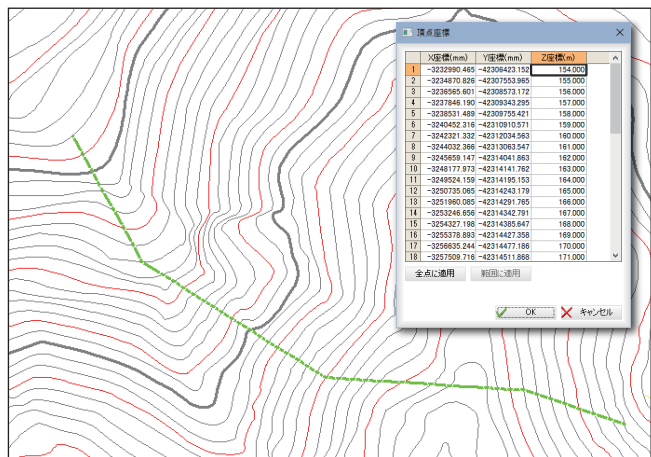
STL出力

STL形式で出力できます。
 ※3Dプリンターに出力する際は、Windows 11に付属しているアプリ
 等でSTLファイルを開いて出力してください。



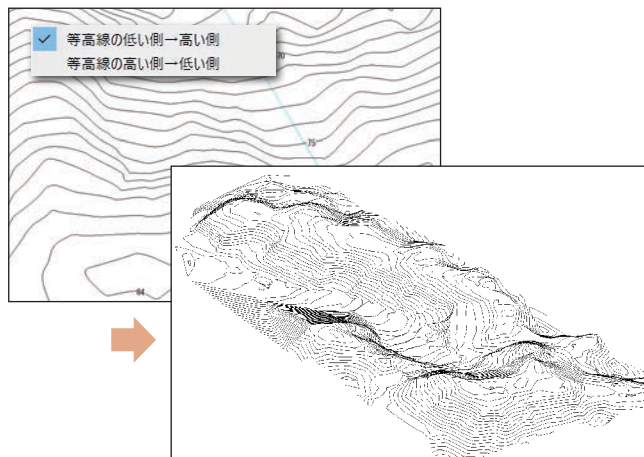
標高付加(作図)

折れ線またはスプラインを作図し、交差した要素に標高(Z座標)が設定されている場合、交点に標高(Z座標)を設定します。



等高線(等高線一括)

作図された等高線を指定して高さ情報を付加できます。
 指定方法は低い側から/高い側からの選択ができます。



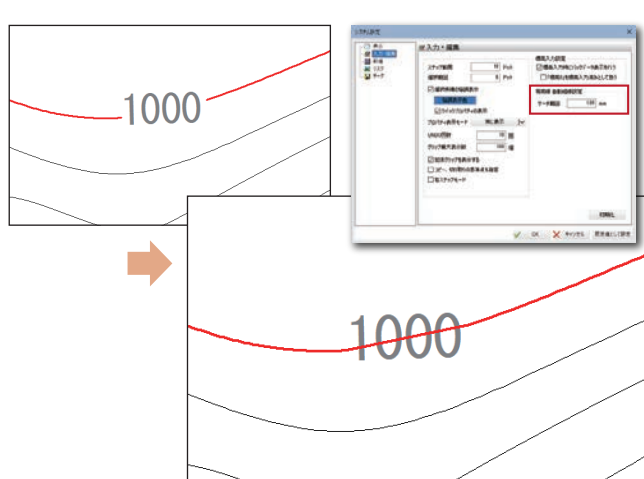
標高入力(標高点)

図面上の独標点となる点、測点、円付近の標高文字から高さ情報を自動取得できます。



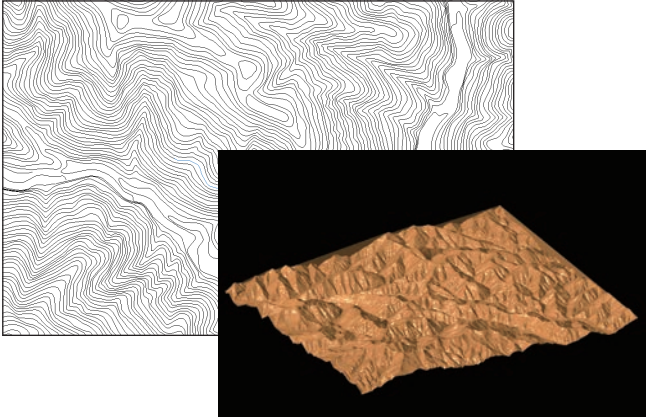
標高(自動結線)

サーチ範囲内にある同じ標高を持つ折れ線の端点を自動結線します。



TIN生成

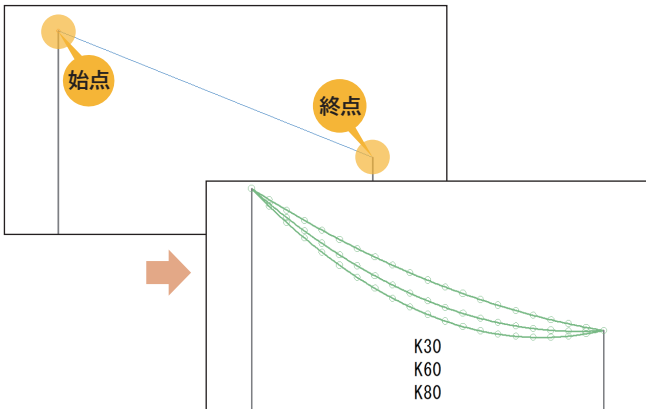
図面上の標高を基にTINが作成できます。



カテナリー曲線

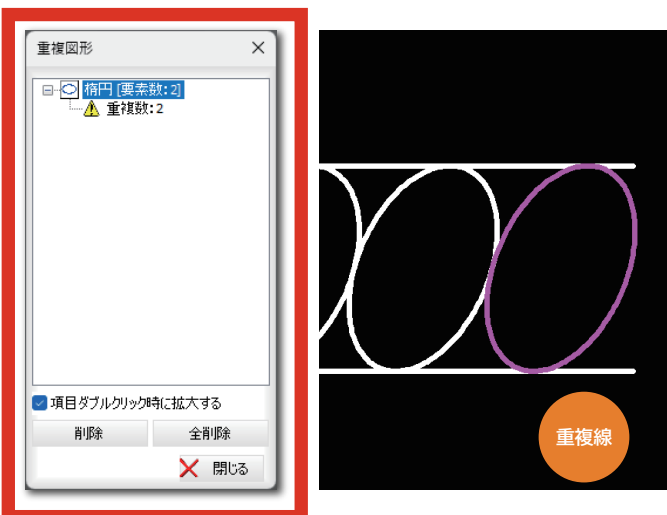
区間を指定後に弛みパラメータをキー入力し、電線の垂れ下がり曲線を作図します。

カテナリー曲線を3本同時に作図する機能を追加しました。
K値の文字をカテナリー曲線の中央に配置する機能を追加しました。



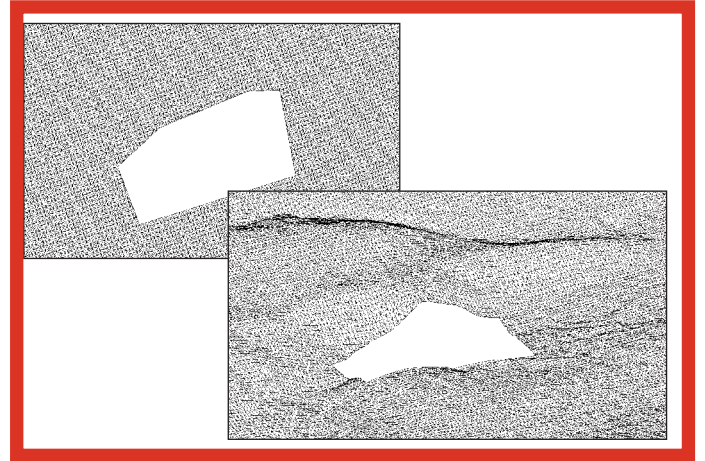
重複図形チェック

重複する線分をチェックし、削除できます。



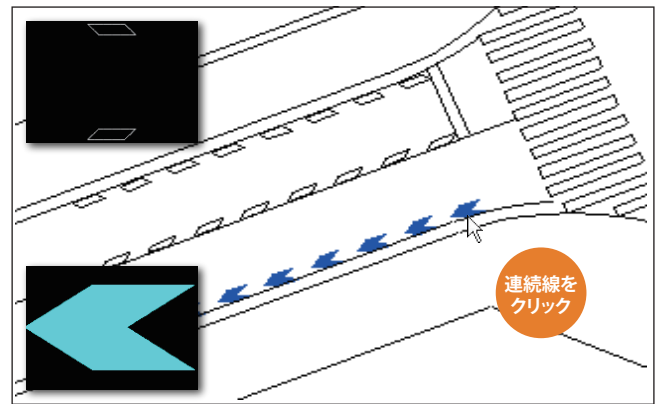
TIN中抜き/TIN枠外削除 NEW

既存のTINを型抜きするように切り抜くことができます。複数のTINを同時に切り抜くこともできます。また、TINを枠外削除する事も可能です。



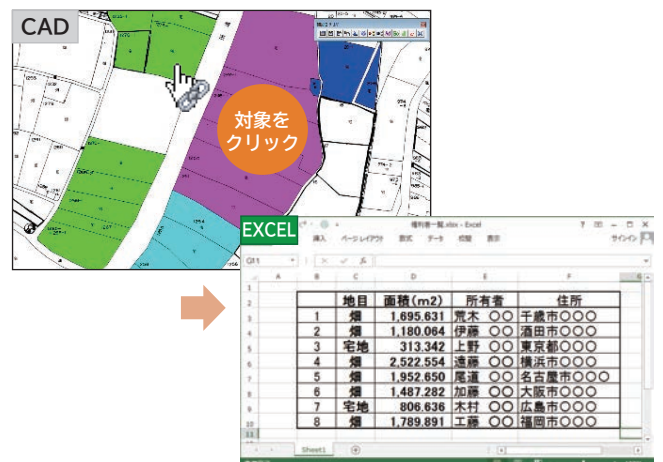
シンボル連続線

作成した図形をシンボルとして登録することができます。また、シンボルを連続線上に等間隔で配置することができます。



リンク設定 機能強化

図面上の図形に他のアプリケーションとのリンクを複数設定することができます。簡易GISの構築にも応用できます。



図面の電子化をサポート

スキャナーで取り込んだ地図や紙図面をベースにデータ化

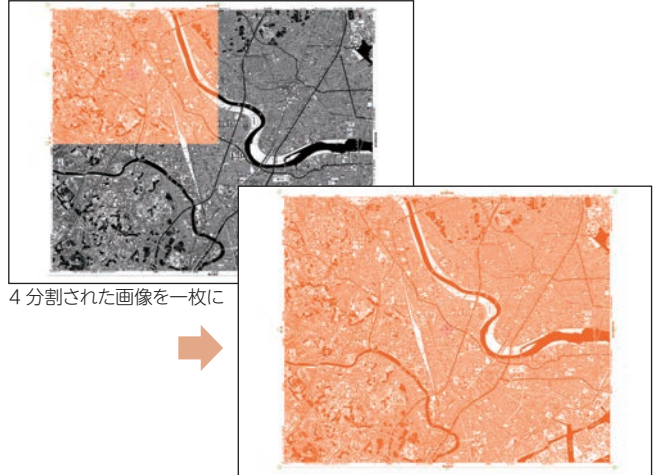
多点間補正

ラスタ上から補正元と補正先を複数点指定して補正(変形)できます。



結合

指定した複数のラスタを結合できます。



4分割された画像を一枚に

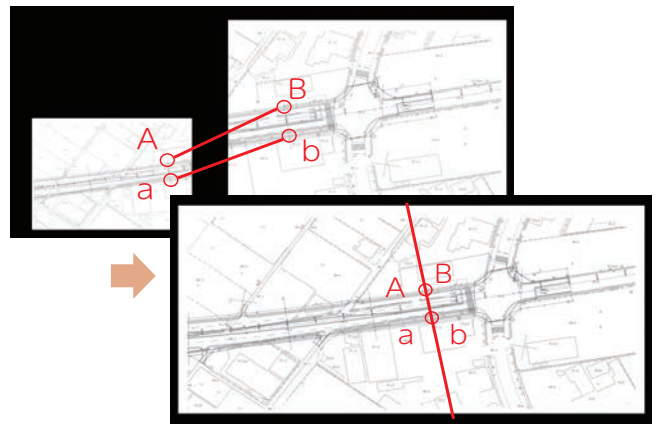
閉領域塗り/グラデーション塗り

ラスタの閉領域内を指示することで領域を自動的に着色します。都市計画図やハザードマップなどの用途で利用できます。



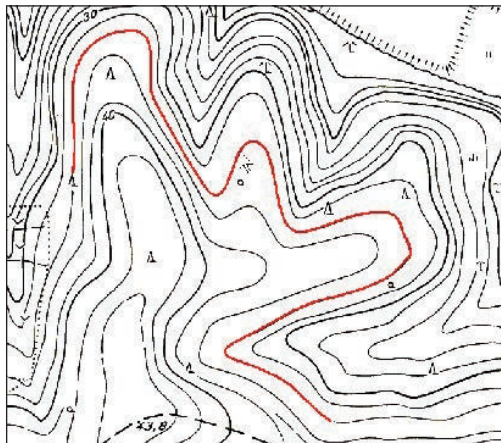
擦り付け合成

ラスタをそれぞれ2点ずつ指示して、一つのラスタとして擦り付け合わせることができます。擦り付ける側に合わせて回転、座標補正、サイズ変更を自動処理します。



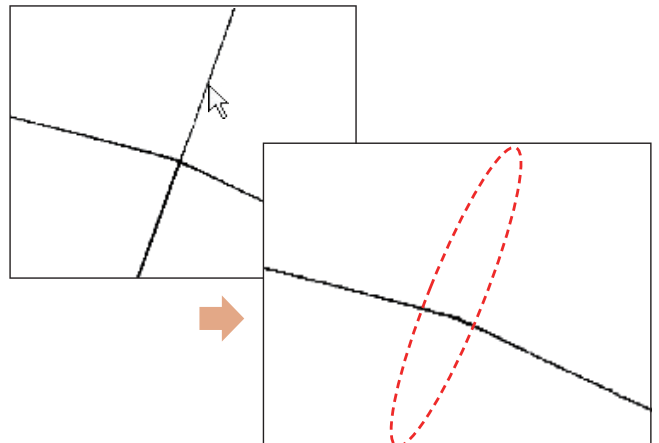
自動トレース

ラスタ上でマウス指示すると、その位置のドットを自動的に追尾しながらトレースしてベクターの図形要素を生成できます。



線削除

ラスタを線分と見なして、削除します。削除方法は単線と連続線があります。

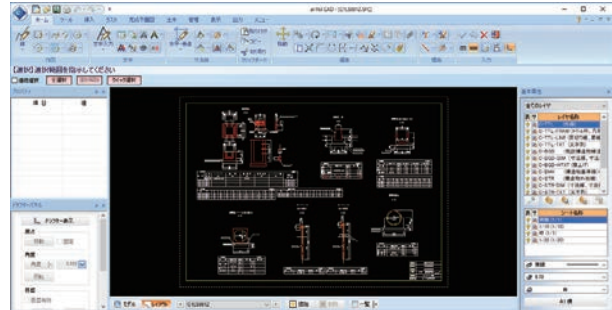
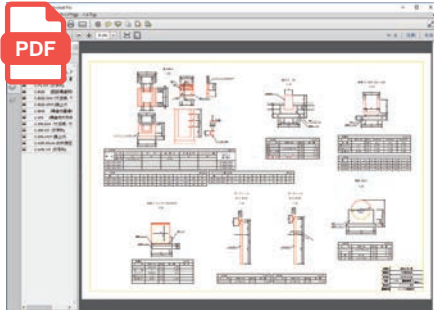


PDF入力オプション

CADソフトなどで出力したPDF図面(ベクターPDF)をレイヤ情報を維持してCADデータに変換して読み込むことができます。

ベクターPDF ⇒ CAD変換

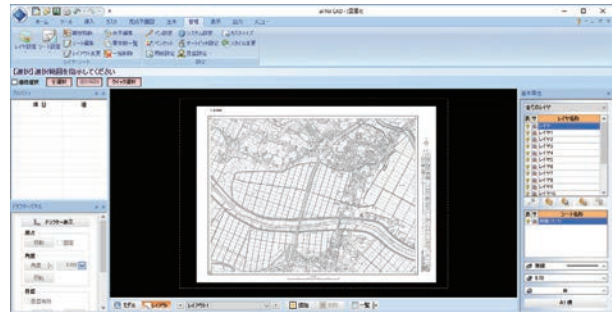
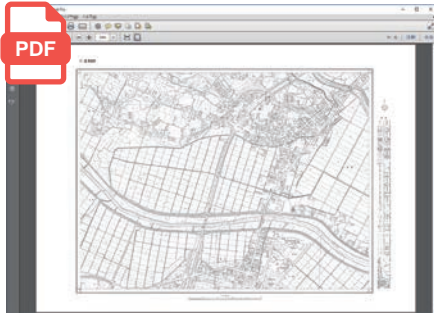
CADなどで出力されたPDFをCAD要素(線分要素、文字要素)として変換し、編集することができます。



CAD要素として変換

イメージPDF ⇒ CAD変換

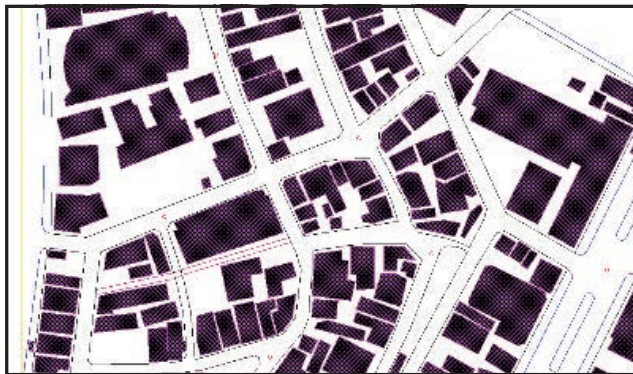
スキャナーなどでイメージ出力されたPDFをTIFF要素として変換し、読み込むことができます。(ラスタオプションを使用し、ベクタ変換できません。)



TIFF変換し画像データとして配置

GISファイル入出力オプション

統計、位置属性データベース(GIS)のフォーマットであるSHPファイルの簡易的な編集を行い出力することができます。



GISシステム

編集

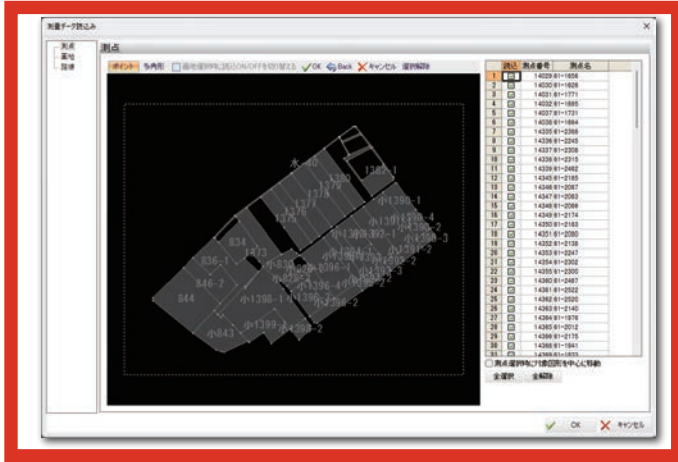
al-Nil CADにて土木図面を作図アシストする機能を追加するオプションになります。

測量データや地形図データ読み込み、面積計算、土木記号、さらに縦横断面作成機能など多彩な土木専用機能を搭載しています。

外部データ入力

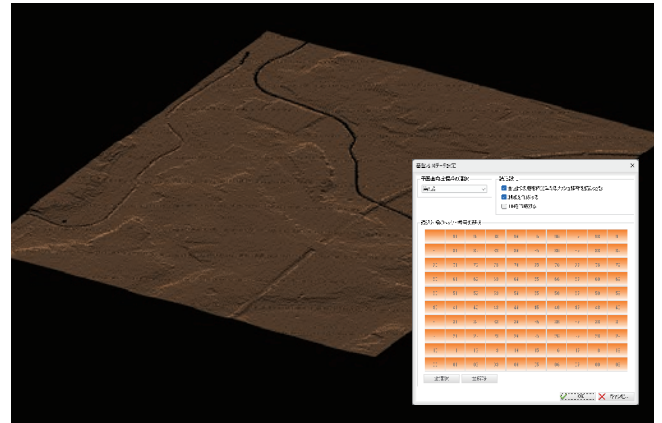
SIMA、CSV形式の測量データの入出力に対応しています。^{*1}
 DM、DMI、SIMA-DM形式の地形図データの入力に対応しています。

^{*1}入力:座標、区画、出力:座標



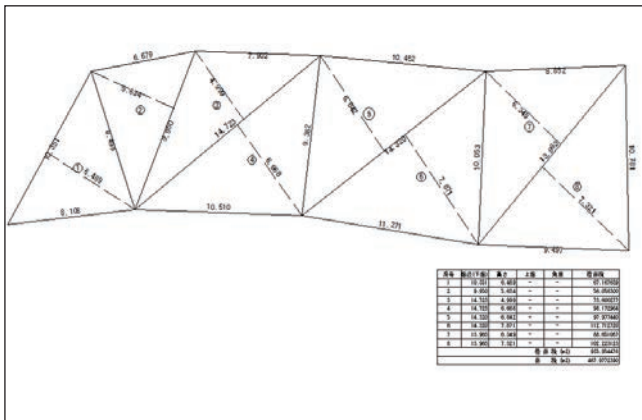
基盤地図データ 機能強化

基盤地図情報の数値標高モデルデータを読み込み、図面に測点またはTINを配置します。ZIPまたはXML形式のファイルを選択できます。読み込み時には範囲選択して不要部分を読み込まないことが可能です。



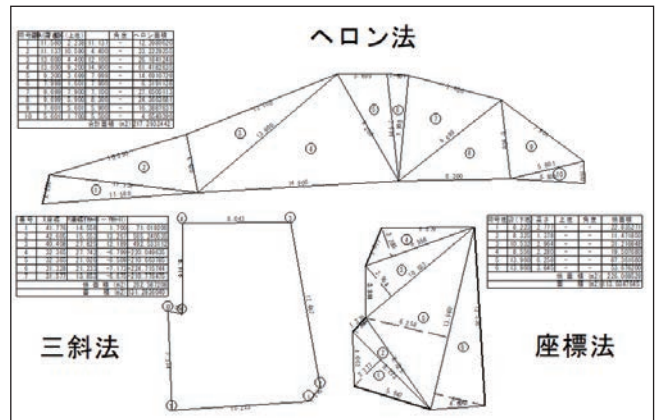
三角形

三角形の三辺長を入力して展開図作成を行います。展開図は面積計算、求積表配置することができます。



面積計算

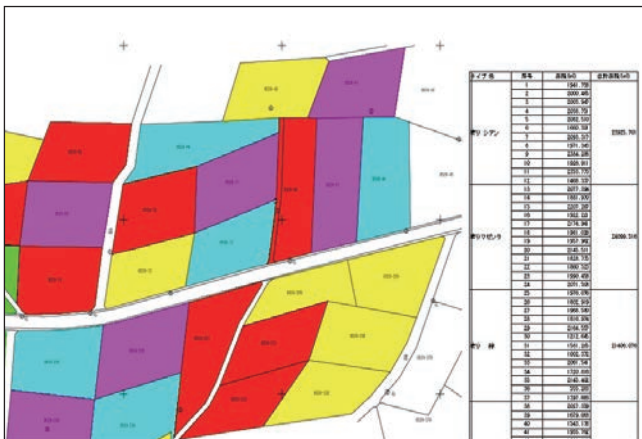
三斜法、ヘロン法、座標法で面積計算します。閉領域から自動三斜を作図、求積表配置することができます。座標法では設定から求積表に「辺長」を、ヘロン法では、「S」列をそれぞれ追加できます。



面積集計

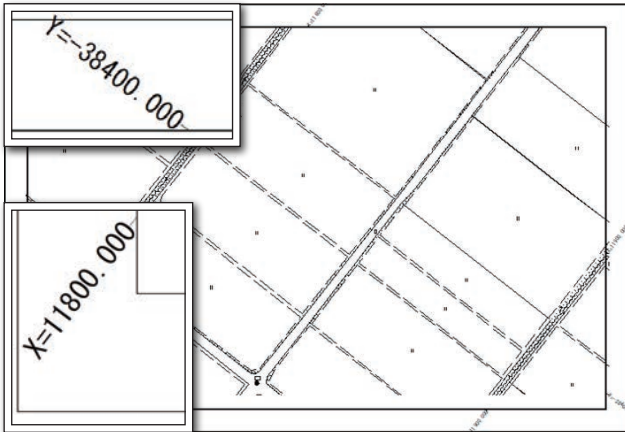
ハッチング別に面積集計します。集計表は図面上に配置することができます。あわせてExcelに出力することもできます。

また、符号配置時に面積を図面上に配置することができます。



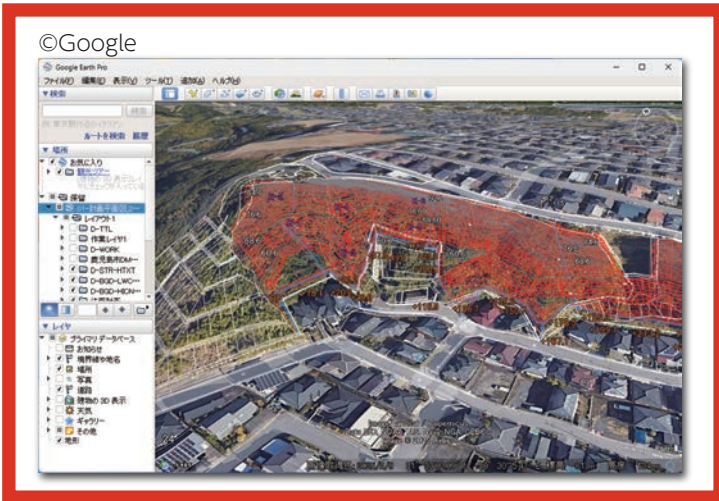
図枠・トンボ

平面図に図枠、トンボ、メッシュ座標を作図することができます。



KML/KMZ 保存

図面をGoogleEarth ファイルに出力することができます。
文字はピン(目印)として出力できます。

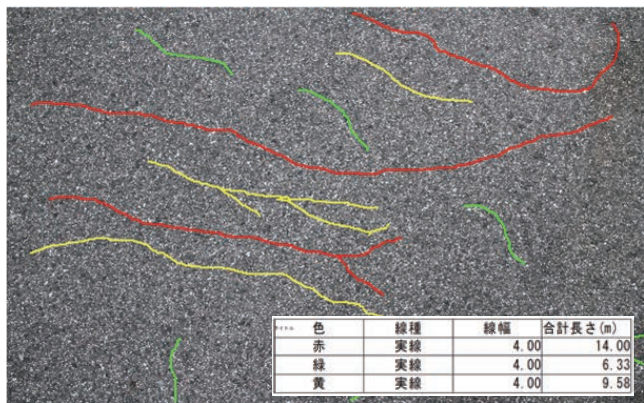


線集計

図面の指定範囲内の線要素の総延長を種類別に計測して数値を配置することができます。

道路面や構造物のひび割れ箇所の調査業務に有効です。

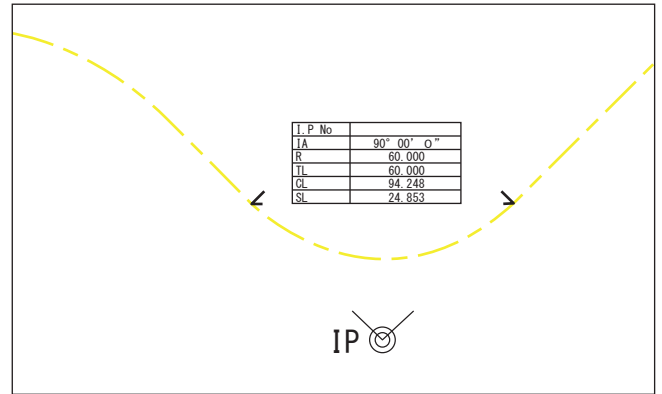
アスファルトのひび割れ現場写真



クロソイド 機能強化

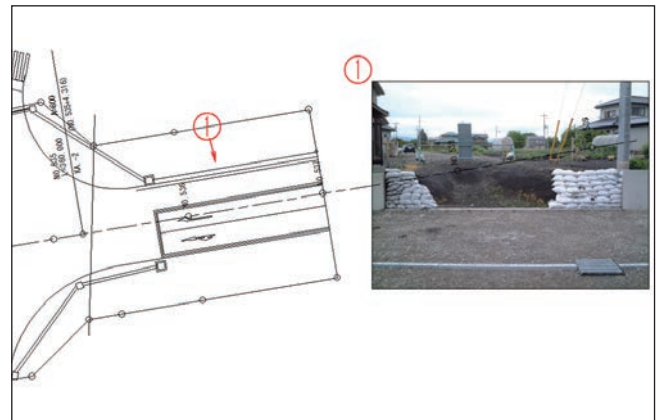
パラメータを入力し、作図記号付きでクロソイド曲線を作図できます。
クロソイドだけでなく、単曲線も作図できます。

※クロソイドが交差していたり、直線と正しく繋がらない場合、エラーメッセージを表示します。



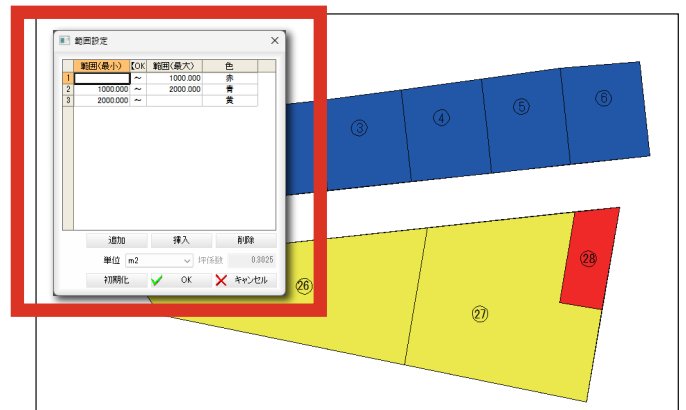
GPS写真配置

GPS位置情報付きの写真データを取込み、図面上に撮影位置を自動配置できます。



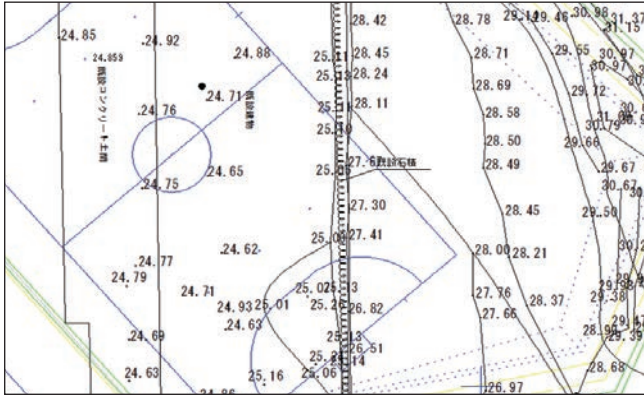
エリア塗り

指定面積の範囲毎に、各色のハッチングを作図できます。



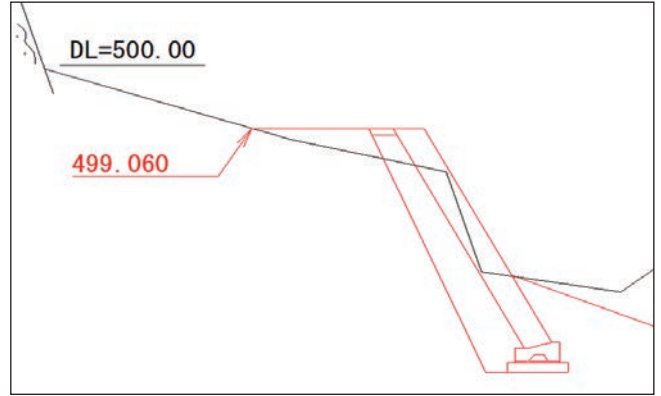
■ 標高値配置(平面)

平面図に配置された高さ情報がある測点に標高値を作図することができます。



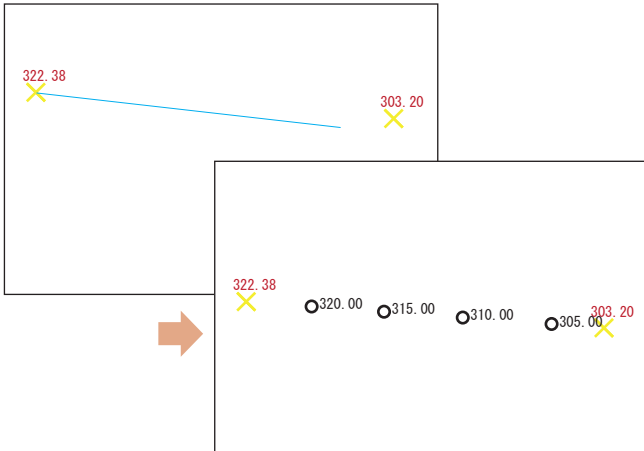
■ 標高値配置(横断)

断面図のDL線、DL値を指定し標高値を作図することができます。



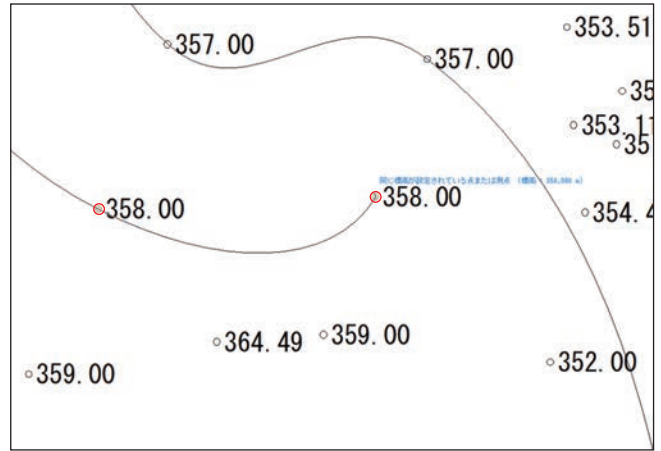
■ ゴマ点

マウス指示した2点間に対し、始点の標高値、終点の標高値、配置ピッチを指定して測点を作図します。同時に前記号、後記号を付けた標高値を作図することもできます。



■ 等高線(作図)

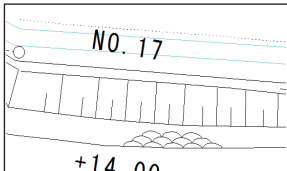
配置された同一標高の測点をガイド(選択色)で確認しながら等高線を作図できます。



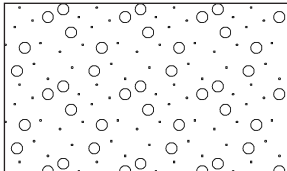
■ 土木関連図形

土木図面を作図するための記号やハッチングなどを用意しています。

法面記号

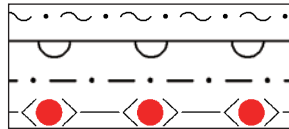


土木ハッチング



砂、碎石、コンクリート、被覆などの土木ハッチングを掲載しています。

特殊線



被覆や柵などの特殊線を作図できます。

土木図形

水位記号、破断記号、地表面記号など多彩な土木記号を掲載しています。

地形記号

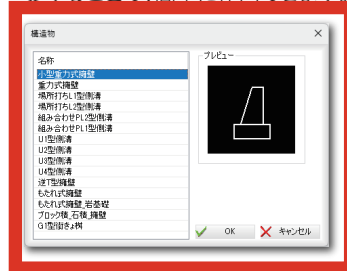
地形記号を配置します。傾きや倍率を変更して配置することができます。

路面標示

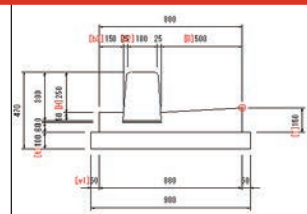
停止線や横断歩道、ゼブラゾーンなどの路面標示を配置できます。

■ 構造物

擁壁や側溝などの計15種類の登録されている構造物図の寸法値を変更することで、簡単に作図できます。

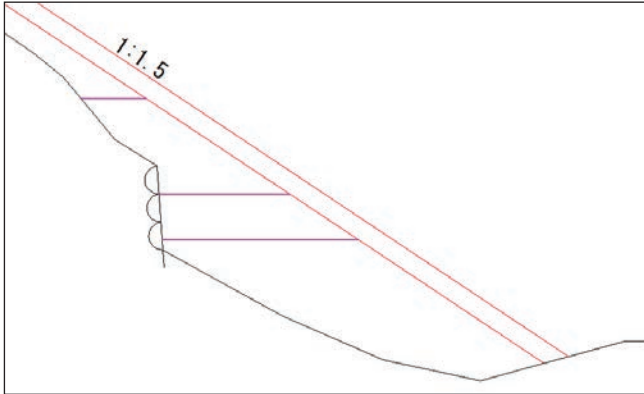


名称	初期寸法	寸法種
1	150,000	150,000
2	180,000	180,000
3	250,000	250,000
4	1,000,000	100,000
5	500,000	500,000
6	1,100,000	110,000
7	1,500,000	150,000
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		



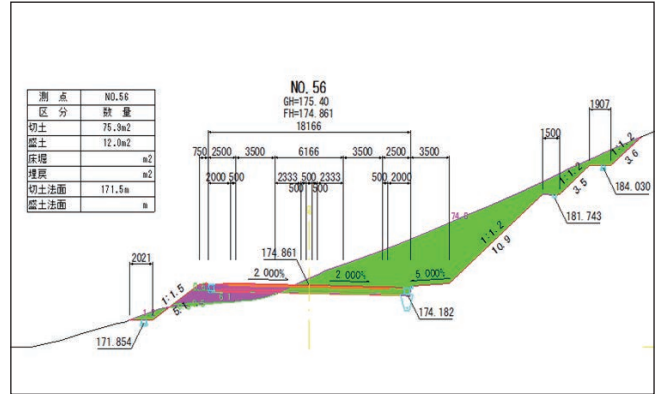
土工区分線

切土、盛土の領域内に指定した幅の線分(土工区分線)を作図できます。



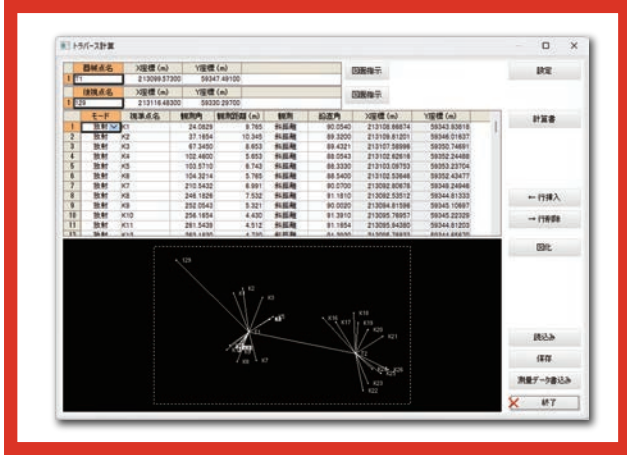
土量集計

横断面図から切土、盛土部を指定して各断面の土量表の配置、土量集計表を作成できます。



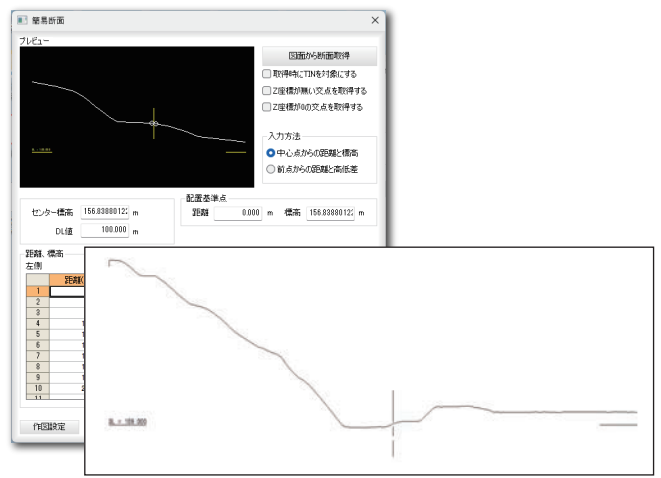
トラバース/逆トラバース

観測データを入力してトラバース計算、配置測点から逆トラバース計算を行い計算書の印刷、Excelへ出力ができます。入力には開放、放射の対応となります。



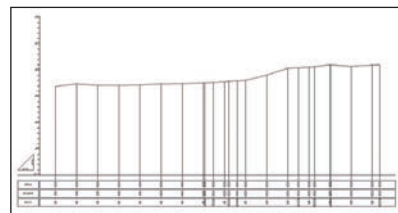
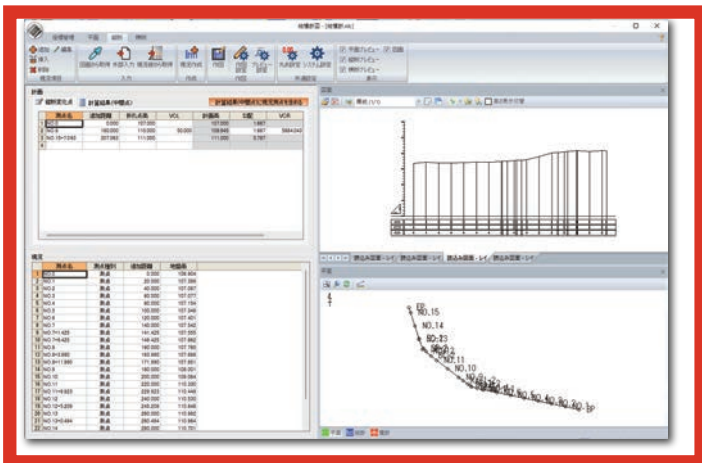
簡易断面

高さ情報を持ったTINや等高線上から断面を取得する始点、終点を指定して断面作図ができます。DL値変更もできます。

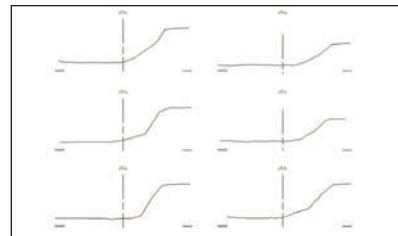


縦横断面作成

縦横断面SIMAデータ、平面図の線形図から線形計算を行い縦断面図、横断面図の作成ができます。



平面線形から縦断面形状を作成、縦横縮尺や配置レイアウトを設定して作図ができます。



平面線形上の全測点横断面図を作成、DL値を指定して作図ができます。

これまで、法務局が有する地図データは、地図証明書・図面証明書として写しの交付を受ける方法や、インターネットでPDFデータを閲覧する方法(登記情報提供サービス)で提供を行ってまいりました。

令和5年1月23日からは、新たに加工可能なデータをG空間情報センターにて公開しています。これにより、生活関連・公共サービス関連情報との連携や、都市計画・まちづくり、災害対応などの様々な分野で、地図データがオープンデータとして広く利用され、新たな経済効果や社会生活へ好影響をもたらすことが期待されます。

※ 登記所備付地図の電子データとは

不動産登記法(平成16年法律第123号)第14条第1項及び第4項に規定する地図及び地図に準ずる図面に係る電子データをいいます。法務局でコンピュータシステムによる事務の処理を可能とする地図情報システムに入っている地図データであり、データの形式は加工可能な地図XMLフォーマットです。

(上記法務省 HP より抜粋)



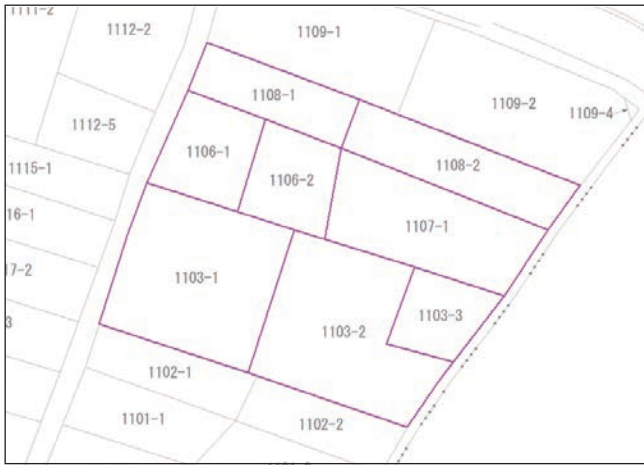
■ G空間情報センター
<https://front.geospatial.jp/>



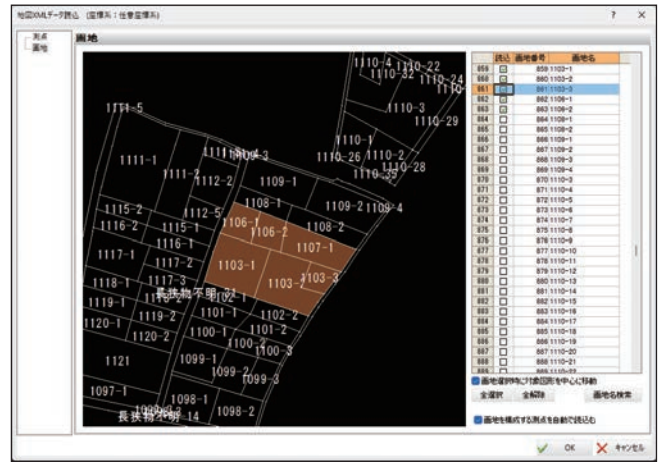
地図XMLをCADデータとして入力

従来は画像データをCAD上でトレースする作業が必要でしたが、地図XMLをCADデータとして入力することにより、作業が大幅に軽減されるようになります。また、複数の地図XMLを同時に読み込むことも可能です。

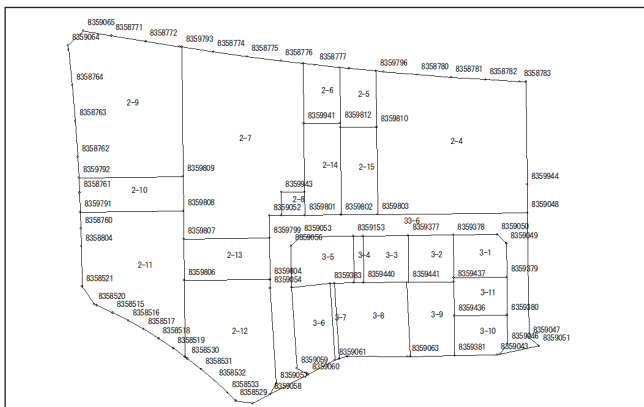
従来は画像データのトレースが必要でした。



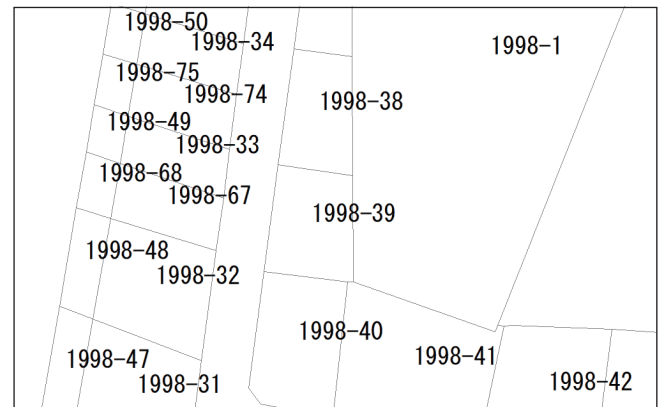
地図XMLから全域か、必要地番を選択して入力が可能です。



レイヤの指定、作図指定で座標を持った地図データが作成できます。



筆境界、筆名の読み込みにも対応しています。

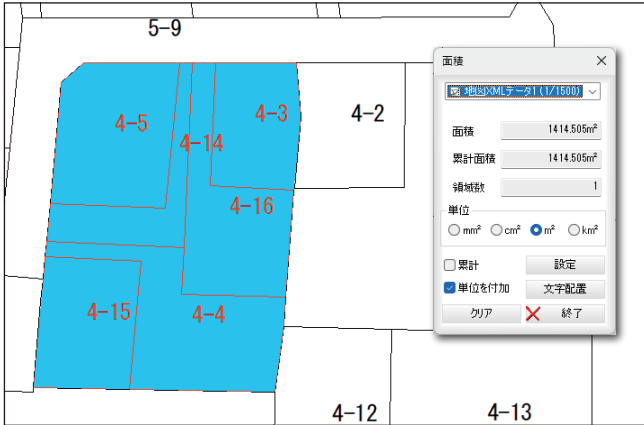


CAD編集可能となります。

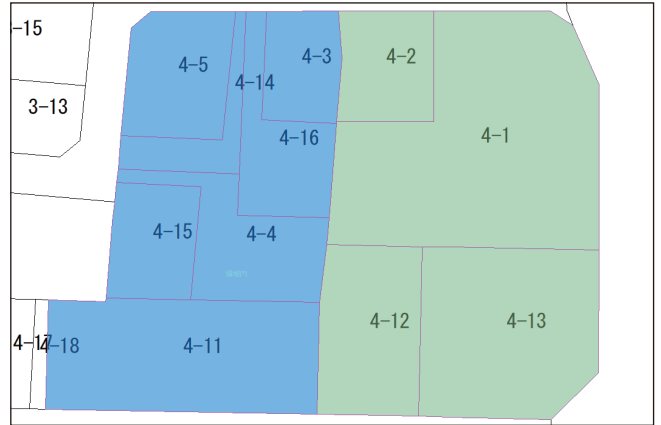
地図XMLを利用することでCAD編集が可能になり、面積、点間距離の確認も可能

演算機能で区画構成点数の確認、各地番面積、累計面積確認など豊富な活用が可能になります。

面積計算



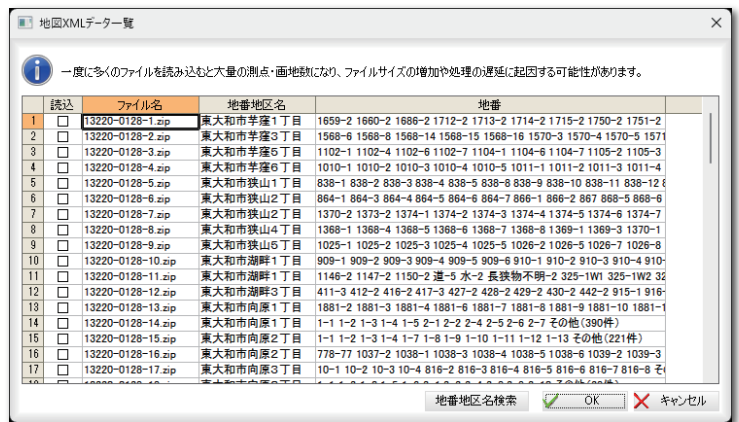
図面上着色



地図XMLデータリストCSVファイルから読み込みを行うことで地番地区名から選択して読み込み可能

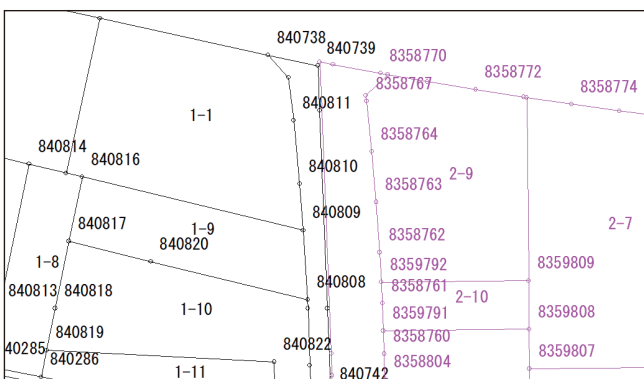
登記所備付地図の電子データをダウンロードすると、地域のデータが地番、地区ごとに分かれたデータになっています。管理ファイルのCSVファイルを読み込むことで、一覧表から目的の地図XMLファイルを選択して読み込むことが可能になります。

名前	更新日時	種類
13220-0128-search-list.csv	2023/09/26 10:56	Microsoft Excel
13220-0128-1.zip	2023/09/26 10:55	圧縮 (zip 形式)
13220-0128-2.zip	2023/09/26 10:56	圧縮 (zip 形式)
13220-0128-3.zip	2023/09/26 10:56	圧縮 (zip 形式)
13220-0128-4.zip	2023/09/26 10:56	圧縮 (zip 形式)
13220-0128-5.zip	2023/09/26 10:56	圧縮 (zip 形式)
13220-0128-6.zip	2023/09/26 10:56	圧縮 (zip 形式)
13220-0128-7.zip	2023/09/26 10:56	圧縮 (zip 形式)
13220-0128-8.zip	2023/09/26 10:56	圧縮 (zip 形式)
13220-0128-9.zip	2023/09/26 10:56	圧縮 (zip 形式)
13220-0128-10.zip	2023/09/26 10:55	圧縮 (zip 形式)



公共座標が設定されている地図XML

公共座標が設定されている地図XMLを追加で読み込むことで簡単に結合することが可能です。



GoogleEarthへ重ねて確認

GoogleEarthで確認する事により現地踏査を明確にすることが可能です。工事着手前の下図確認、打合せ、住民説明などで活用することができます。

(※任意座標エリアは合成不可)

©Google



国土地理院が配信するタイル状の地図データを国土地理院コンテンツ利用規約に従って利用できます。
 地理院タイルには、基本測量成果、基本測量成果以外で出典の記載のみで利用可能なもの、それ以外のものがあります。
 利用にあたっては、地理院タイルをウェブサイトやソフトウェア、アプリケーション上でリアルタイムに読み込んで利用する場合、地理院タイルは出典の明示のみで申請不要でご利用することができます。
 地理院タイル入力オプションでは、公共座標を持つ図面上に国土地理院が公開している地理院タイルデータを引用し、合致した座標の各種イメージデータ(標準地図、淡色地図、写真、その他)を貼り付けることができます。

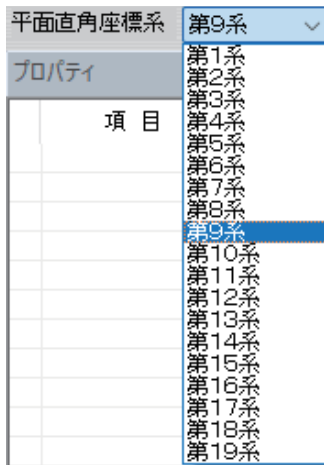
※地理院タイルとは

国土地理院が配信するタイル状の地図データです。
 「タイル」という名前のとおり、建物の壁や天井、道路の歩道などで見かける「タイル」と同じく、敷き詰められて利用されるものです。
 詳しくは国土地理院ホームページをご覧ください。



座標系設定

読み込まれた座標が設定されている図面の平面直角座標系を設定する事で地理院タイルを自動で読み込むことができます。



ズームレベル

数字が大きいほど細かいタイルサイズとなります。

ズームレベル16



ズームレベル18



地図タイプ標準

色分けされた標準地図を読み込みます。



地図タイプ淡色

色数を制限した地図を読み込みます。



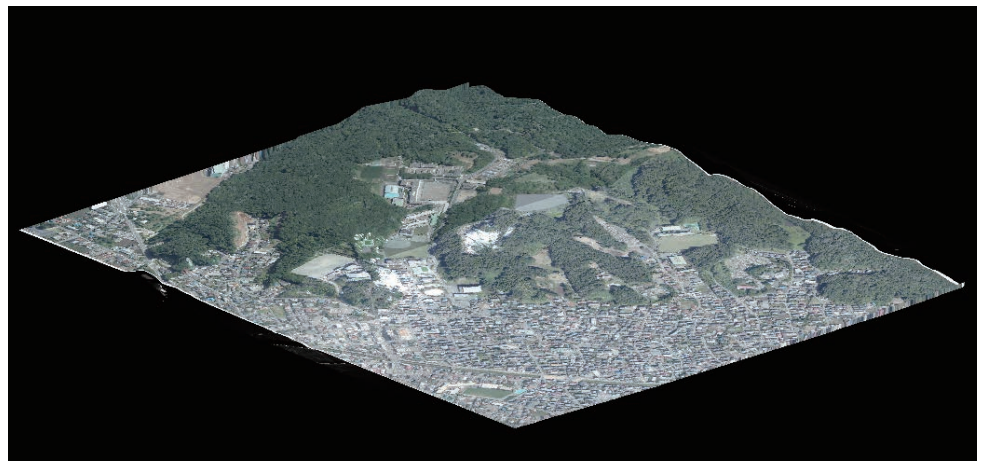
地図タイプ写真

航空写真地図を読み込みます。



ラスタースター結合／登録

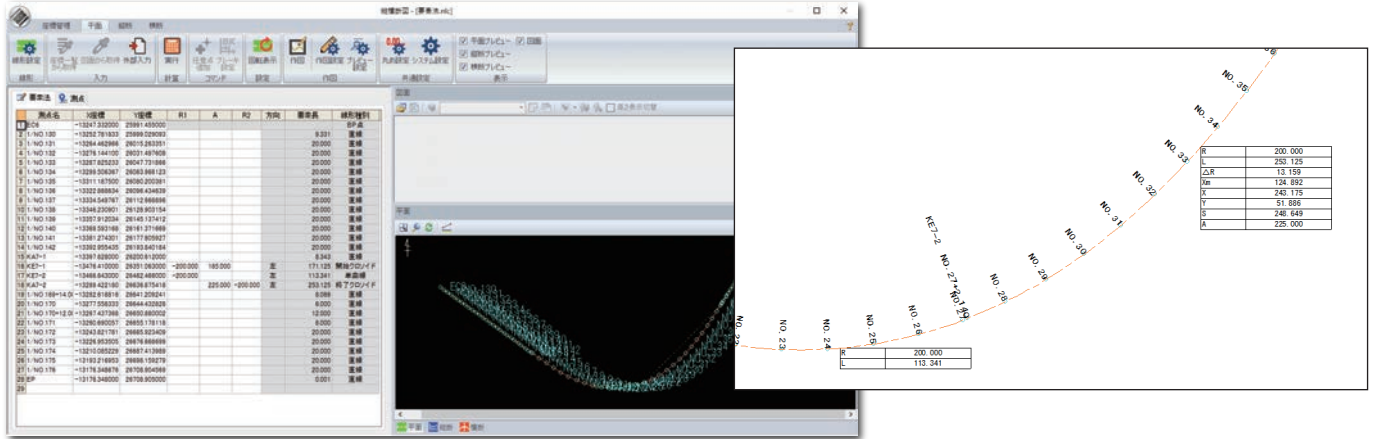
ラスタースターオプションが有効時に利用することが可能です。タイルごとに読み込まれたデータを1つに結合することができます。また、読み込まれたデータを画像データとして保存してオルソ画像として使用することができます。



概略道路設計オプションは、平面中心線形図、縦断面図、横断面図作成に加え概算土量計算、J-LandXML出力機能を搭載しています。平面図に配置されたTINサーフェス上の中心線形図から縦断、横断面現況の高さ情報取得を行い、2次元図面から3D化することが可能となります。

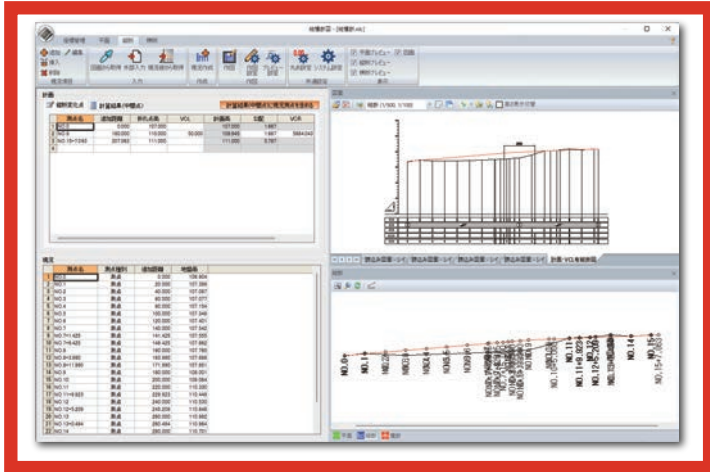
線形作図

図面上からIP点等の座標や測点名をマウスで取得し、線形要素パラメータを入力後に線形計算を行うことで要素表や記号を付けて線形を作図できます。



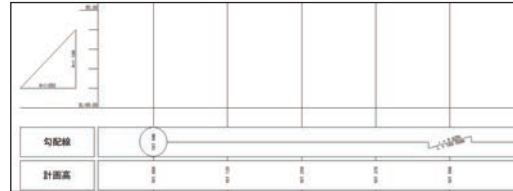
縦断面図作成

縦断面現況データに計画データとして折れ点高、VCL値を入力して縦断面計画を考慮した縦断面図作成ができます。
 入力データはプレビュー画面で容易に確認ができます。



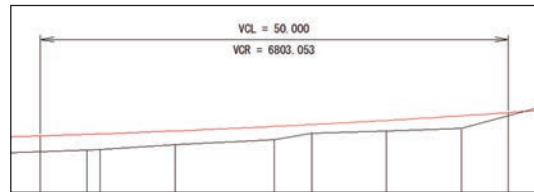
勾配線の作図

勾配線の帯を作図する機能を追加しました。



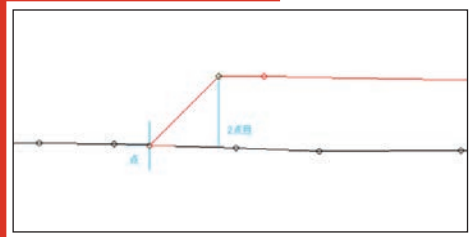
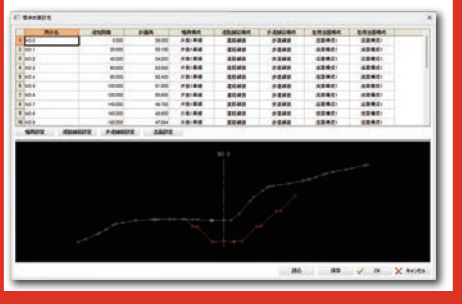
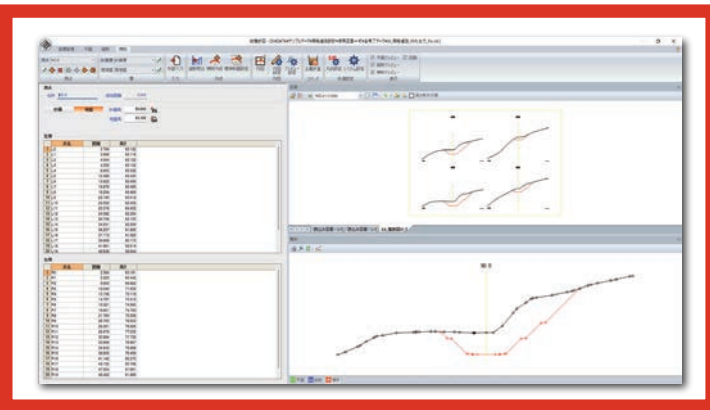
VCL、VCRの作図

縦断面図の作図の際、VCL、VCRを旗上げできます。



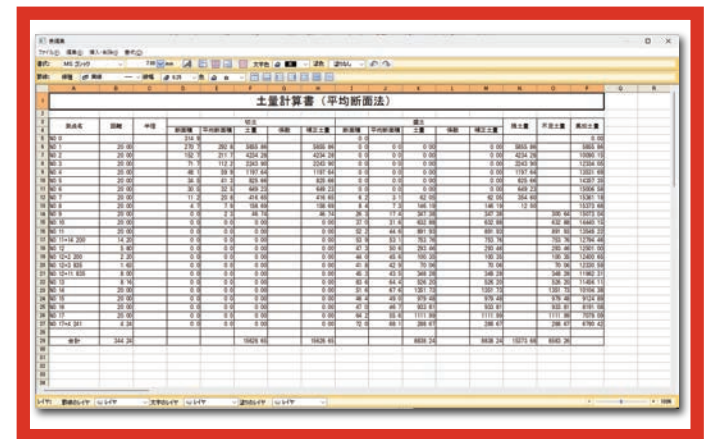
横断面図作成

横断面現況データに標準断面設定を指定して横断面計画図の作成が行えます。作図設定で横断面の配置順、記載項目名称設定、寸法、数量表、側溝の作図設定ができます。
 プレビュー画面では点間距離の確認もできます。



土量計算

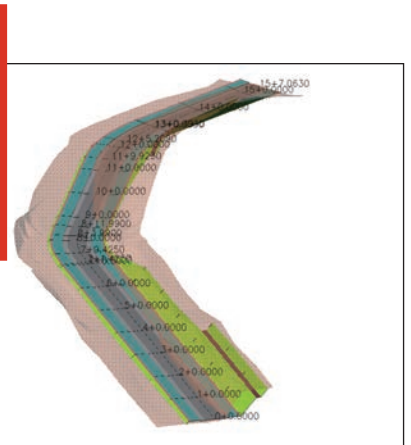
現況、計画データから平均断面法/平均距離法による、切土、盛土の概算土量計算を行い計算書をExcelへ出力することができます。



J-LandXML出力

概略道路設計オプションで作製したデータを3次元設計データ「J-LandXML」形式に出力できます。

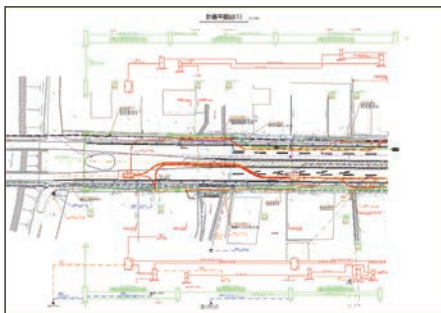
※J-LandXMLデータの表示は別途、iLEX Seriesが必要です。



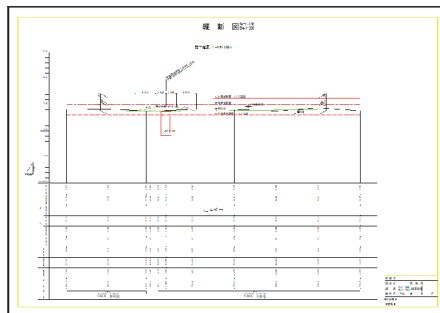
2次元図面の情報から3次元モデル化

2次元図面データ(平面図・縦断面図・横断面図等)から埋設管や排水溝などの構造物に対する平面線形、高さ、断面形状情報を取得して、3次元モデルデータの作成が可能です。

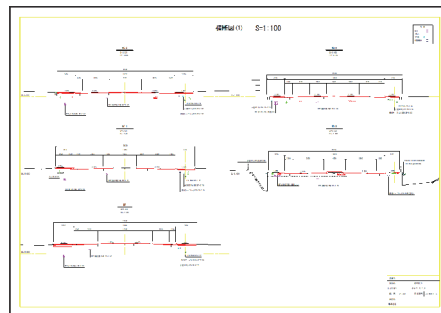
平面図



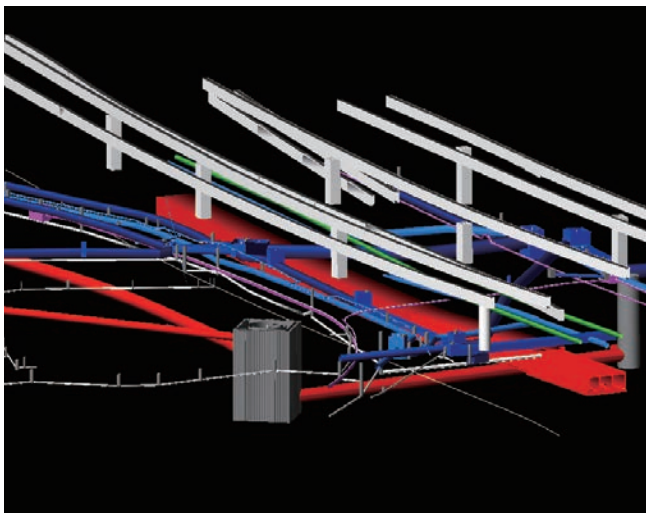
縦断面図



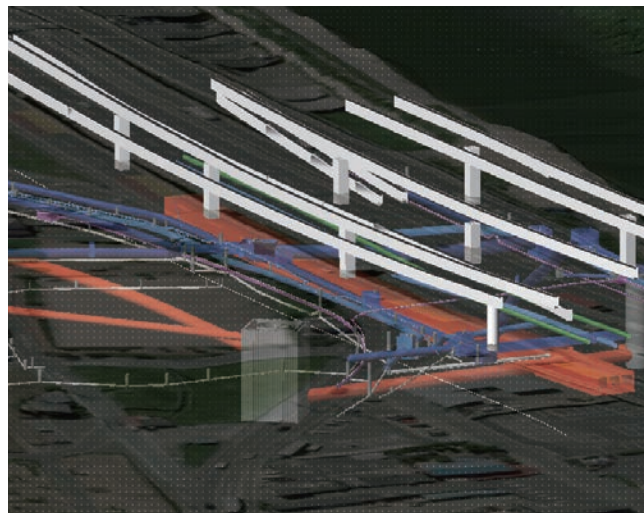
横断面図



地上構造物、地下埋設物モデル



地上構造物、地下埋設物モデル、オルソ画像の統合

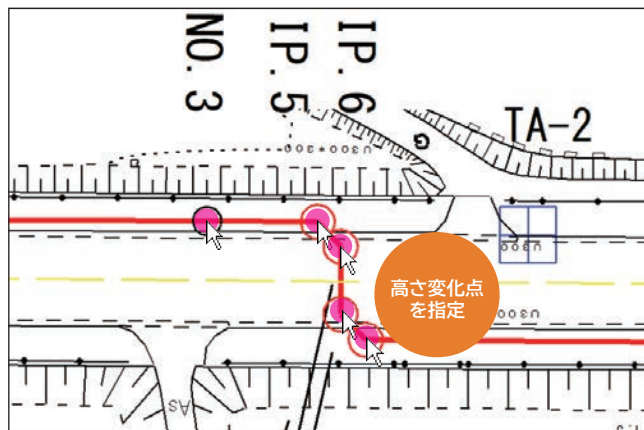
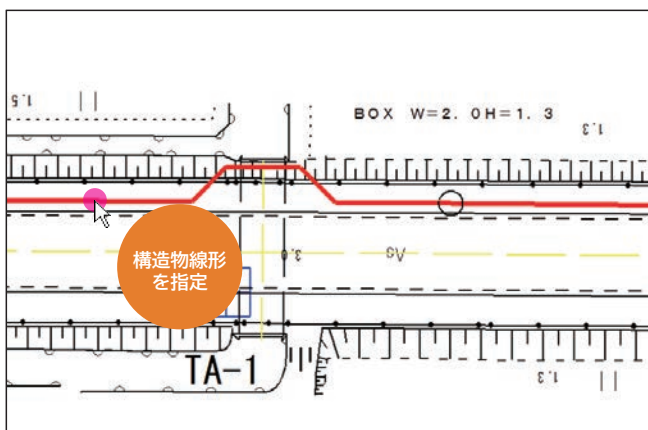


※オルソ画像の読み込みは別途、3Dプランオプションが必要です。

平面線形情報の取得

平面図から構造物の線形要素を選択します。(X,Y座標情報の取得)

線形上の任意の位置に高さ変化点を指定することができます。

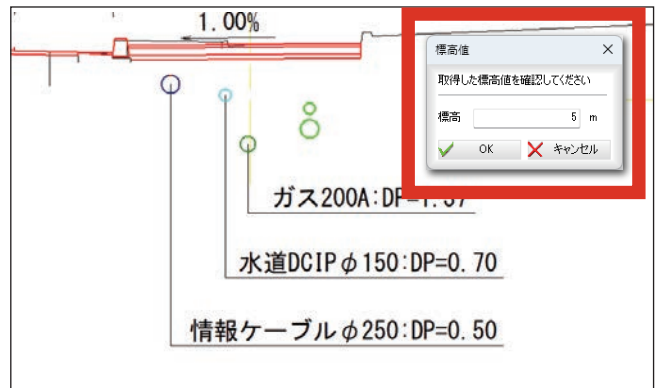


高さ情報の取得

縦断面図などの数値から標高を取得できます。

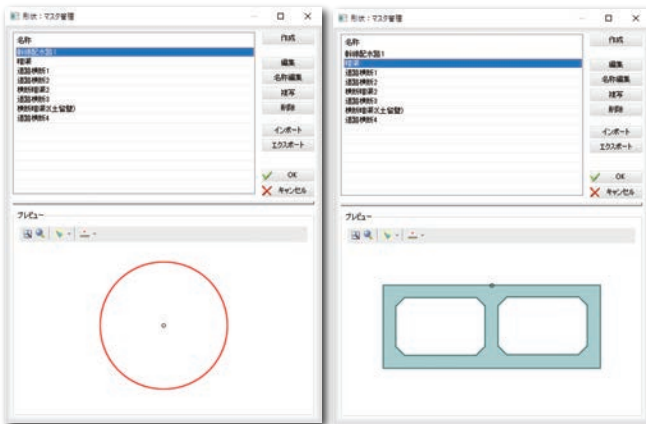


DL線、DL値を指定し、取得したい高さをマウスにて指定できます。



断面形状の取得

2次元図面(横断面図、構造図など)を利用して断面形状を作成できます。作成した断面形状は保存することができ、別の現場でも利用することができます。



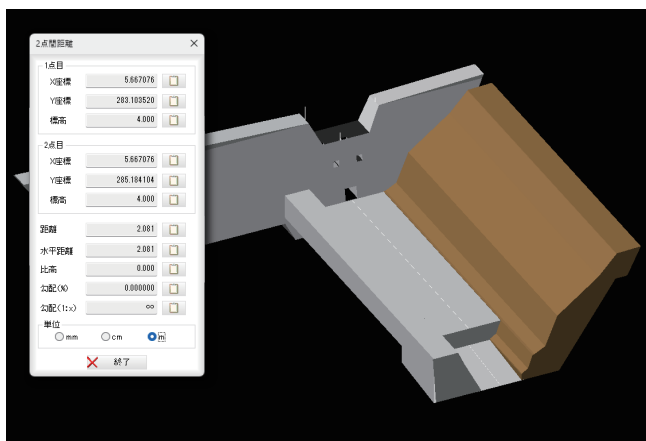
作成した断面形状を線形に沿って3Dモデル化できます。線形の形状が変更されても自動的に再構築されます。

地下埋設物モデル

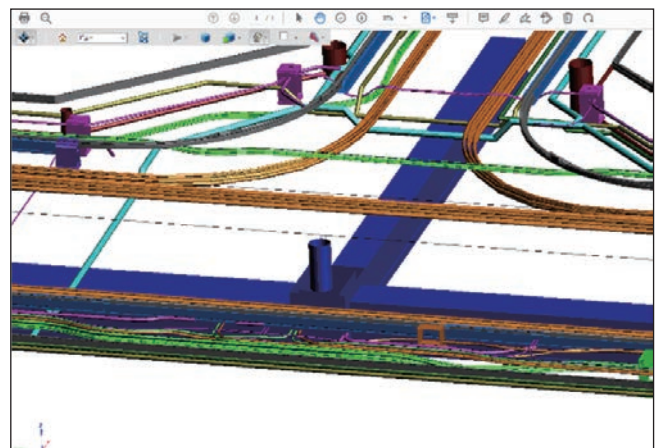


作成した3Dモデル

3Dモデルより、距離、座標値の確認ができます。また、計測結果はクリップボードに貼り付けて使用できます。



3Dモデルは3D DWG/DXF、3D PDF、JPEGに保存できます。



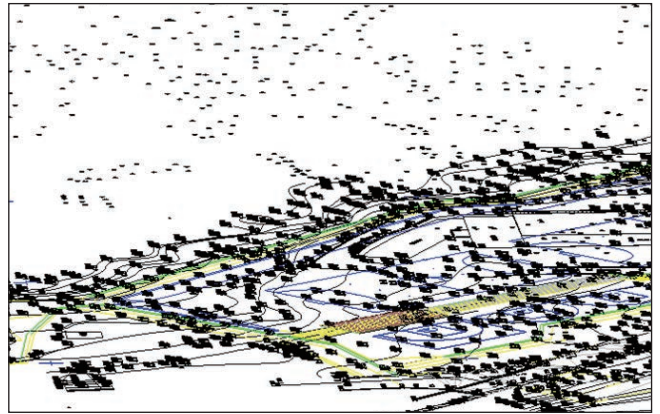
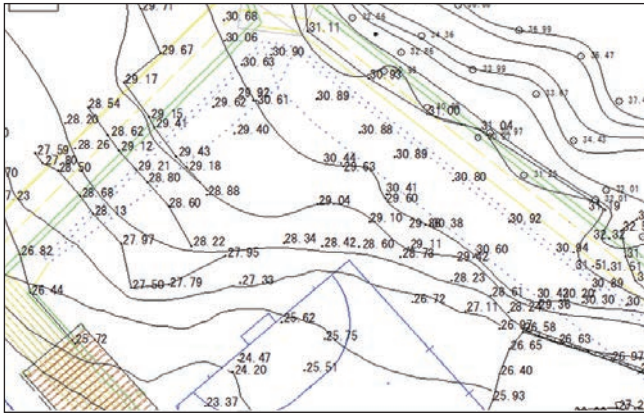
3Dプランオプションでは2次元図面と3次元測点座標を活用して2次元図面の3次元化が可能です。また、2次元図面と3次元モデルを同時編集、さらには土量集計もできる画期的なシステムです。

2Dから3Dへ

2次元図面上の標高点要素に対して、標高値文字要素から高さを自動付加し、図面全体を3Dモデル化するための準備ができます。

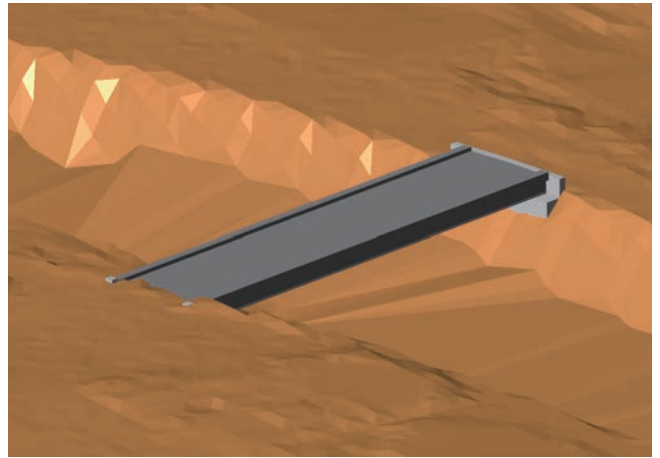
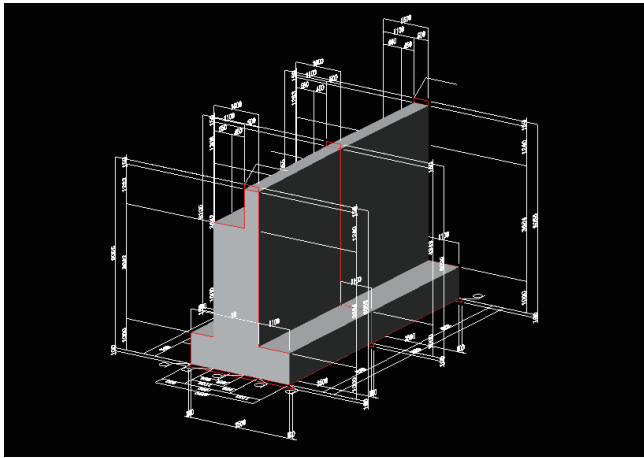
3Dペイン上に高さが設定されている標高点要素(3D SIMA読み込み可)が表示されます。

※3Dペインについては【2次元図面・3Dモデルを同時表示で相互編集】をご参照ください。



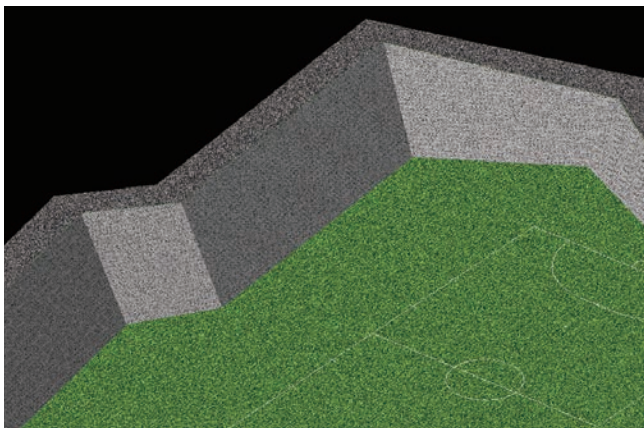
面の持ち上げ・立面

2次元図面上で面データを入力し、指定の高さに持ち上げることが可能です。また、同じく2次元図面上で図形を立面(立ち上げ)することができるので寸法線等を3D図面に合わせて配置することができます。



3D:面素材 **NEW**

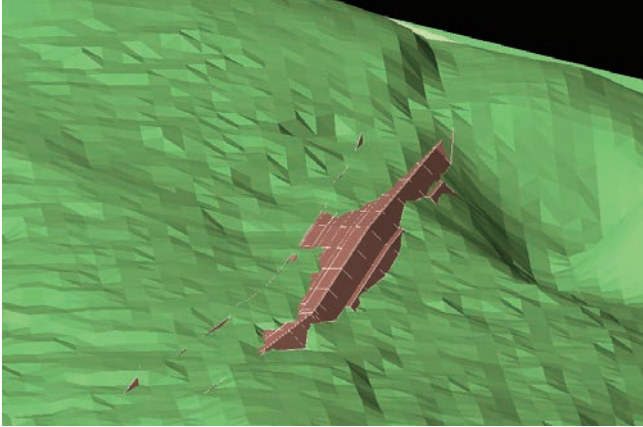
面データに対して素材画像を貼り付ける機能を追加しました。よりリアルな表現が可能になります。



土量集計 機能強化

土量集計の計算方式は点高法(4点)と、点高法(1点)、プリズモイダル法、TIN分割法から選択できます。

現況+計画



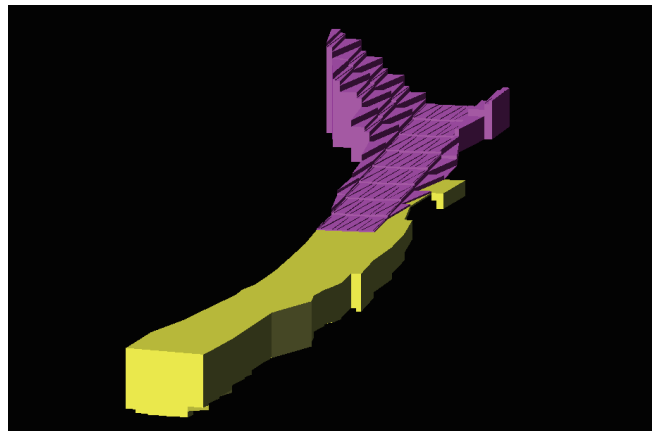
点高法(4点平均法/1点法)



プリズモイダル法



TIN分割法

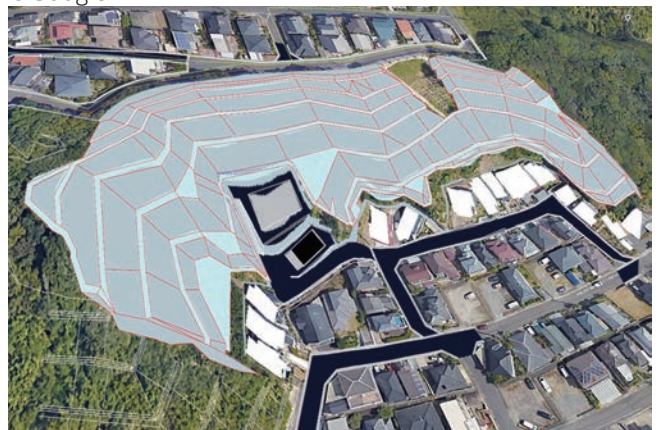
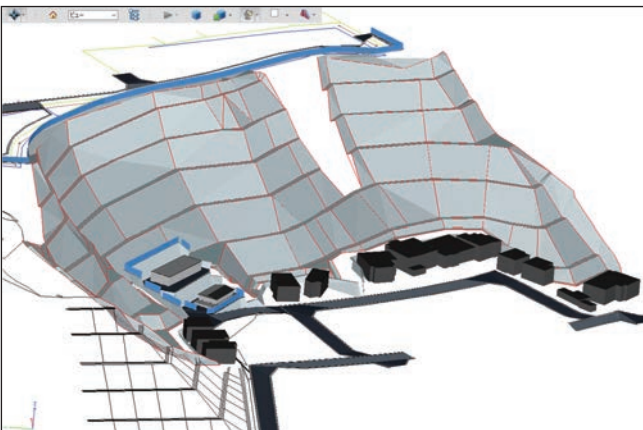


外部データ出力

作成した3Dモデルは、3D DWG/DXF、3D PDF、JPEG、J-Land-XML(Surface)に出力できます。

拡張土木オプションのKML/KMZ出力を介してGoogleEarthファイルに出力できます。

©Google

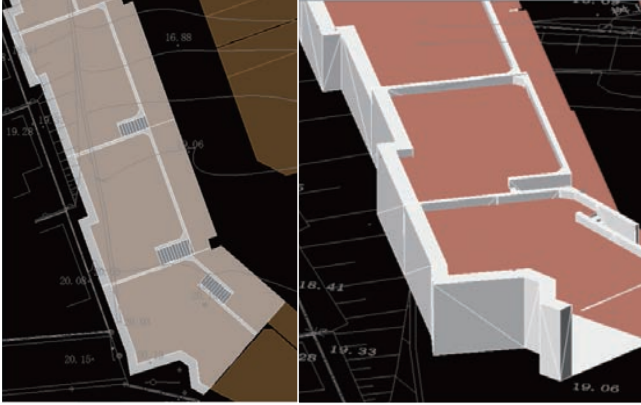


2次元図面・3Dモデルを同時表示で相互編集

2次元図面と3Dモデルを同時表示しながら、編集箇所に応じて2DCAD、3Dペインを使い分けて編集作業を行うことができます。

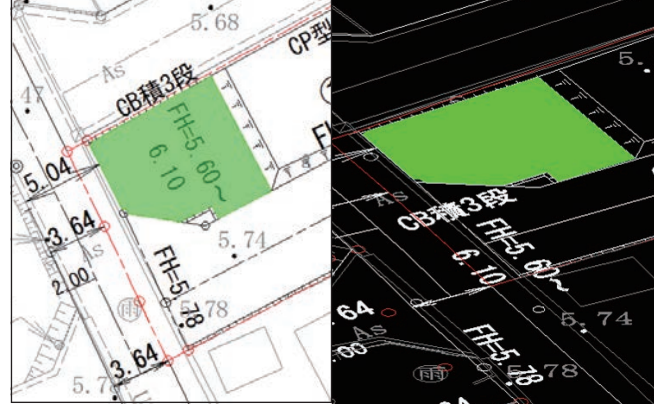
2次元図面

3次元モデル



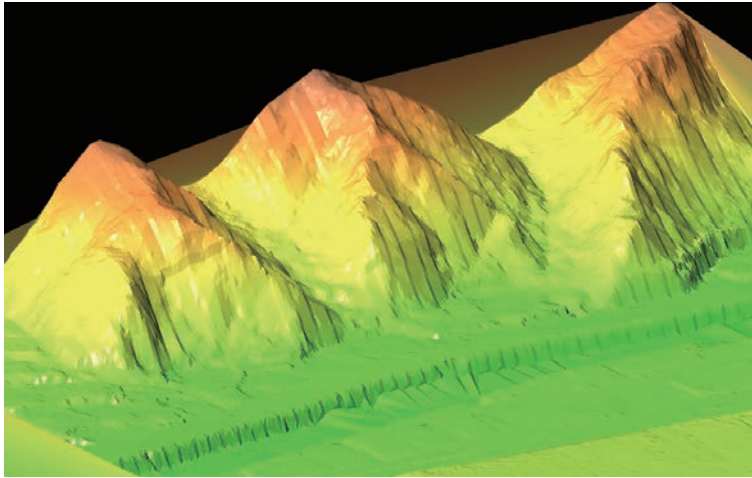
3Dプランデータの入力

2次元図面上で3Dプラン属性情報を持った面データを入力します。作成する面データの領域内に高さ情報の文字要素が作図されていた場合には、面データの作図と同時に高さ情報を取得し、面を作成します。



標高色分け **NEW**

標高に応じて色分けして表示することができます。地形の起伏を視覚的に把握しやすくなります。



3Dプランデータの数値入力、面積集計機能

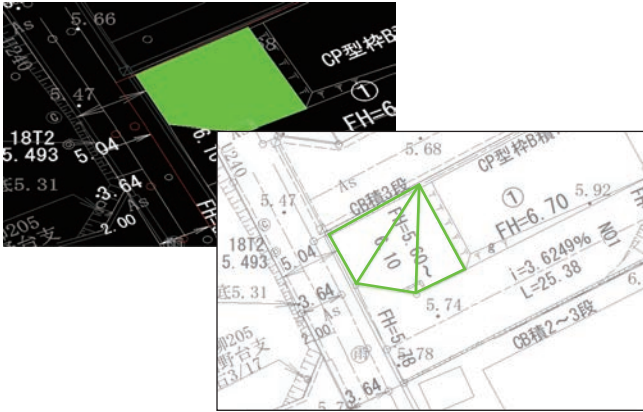
3Dプラン属性情報を持った面データを入力する際には、面の分割入力や、面積指定入力ができます。

作成したデータを3Dプラン属性ごとに集計した表を作成できます。集計結果の表は、2次元図面に貼り付けたり、Excelへ出力できます。



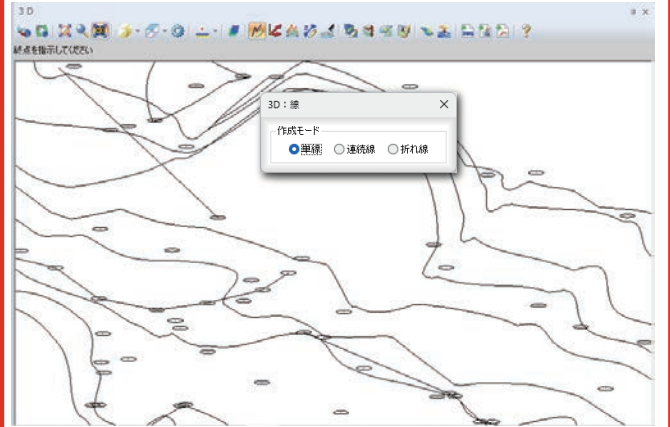
3Dペインでの作図・図形の編集機能①

3Dペイン上から面データのの入力を行うと、2次元図面上ではTIN要素として作図され、2次元図面と3Dモデルが同期されます。
3Dペイン上から面データの頂点標高、傾斜、形状の編集ができます。



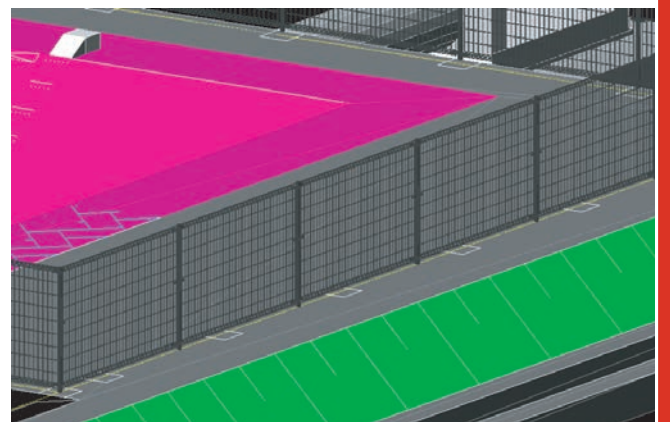
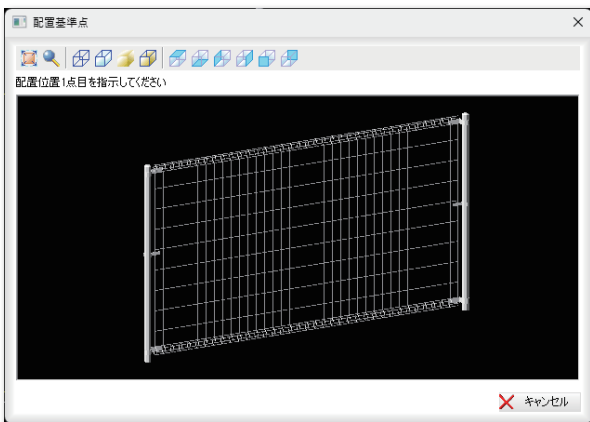
3Dペインでの作図・図形の編集機能②

3DペインにてCAD要素の作図、編集ができます。作図、編集する際には3Dモデルをスナップすることができます。要素移動、頂点の移動／削除も行えます。



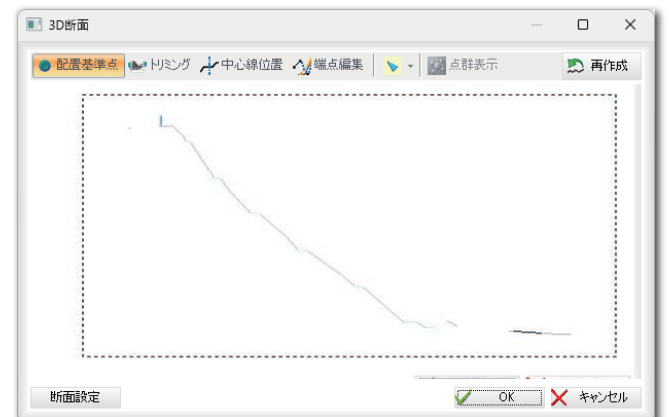
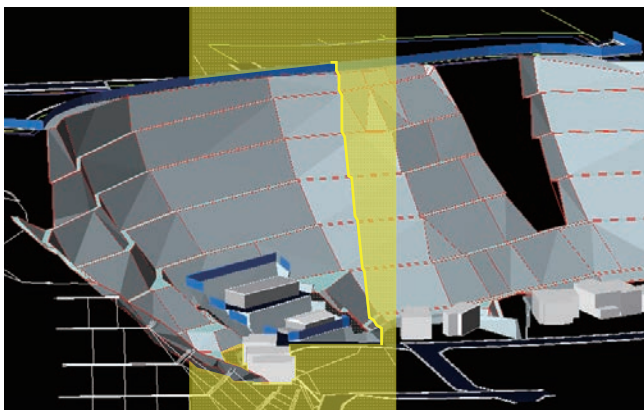
3Dシンボル連続配置 **NEW**

2点指示によるシンボルの連続配置を行う機能を追加しました。

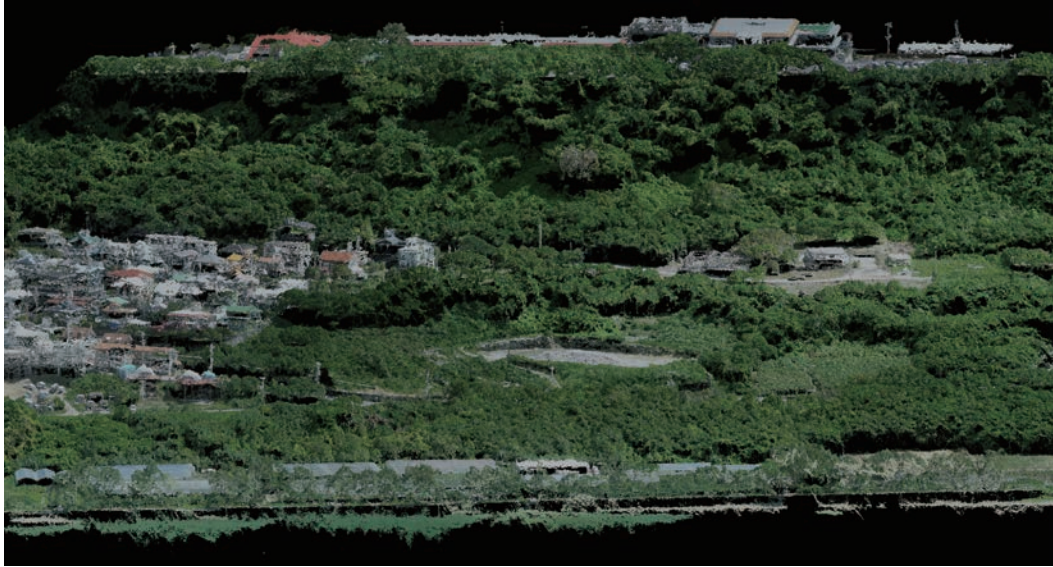


断面作成機能

2次元図面上の線形又は任意の2点を指定して断面図の作成ができます。線形では始点と終点を指定後、測点間隔・断面長を入力して作成ができます。作成される断面図には自動でDL線、中心線が作図されます。



点群入力オプションの対応形式は、LAS、PCG、PCD、OBJ、STL、PLY、CSV、TXTになります。

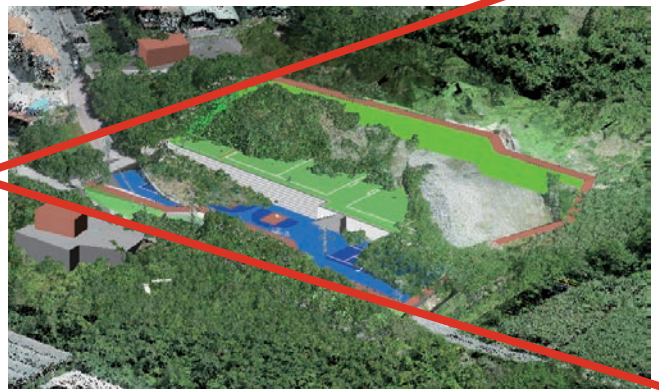
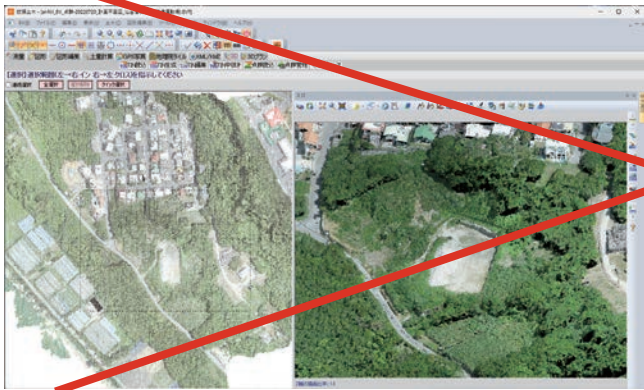


2次元図面・3Dモデルを相互表示

2次元図面と3Dモデル画面を同時に表示することが可能です。

3D ペイン上で、点群データに 3D モデルを重ねて表示することが可能です。

画像は次ページのal-Nil版を仕様



読み込み前にデータの点数、RGB 値の確認、XY 座標値の入替、データ単位の変更が可能です。

点群管理で描画速度を高速化することが可能です。

点群読込

点数 6,195,785 XY座標を入れ替える データの単位 m (メートル)

	X (m)	Y (m)	Z (m)	R	G	B
1	-38399.910	-26698.770	109.790	47	70	90
2	-38399.790	-26699.380	111.620	97	101	110
3	-38399.700	-26698.640	110.050	56	75	95
4	-38398.910	-26699.880	111.610	102	108	116
5	-38399.240	-26699.510	111.580	98	103	111
6	-38399.090	-26698.720	109.830	51	74	92
7	-38399.590	-26698.480	110.430	79	92	110
8	-38399.030	-26699.260	111.560	86	97	106
9	-38398.530	-26698.870	109.740	46	69	83
10	-38399.030	-26698.590	110.290	70	87	106

OK キャンセル

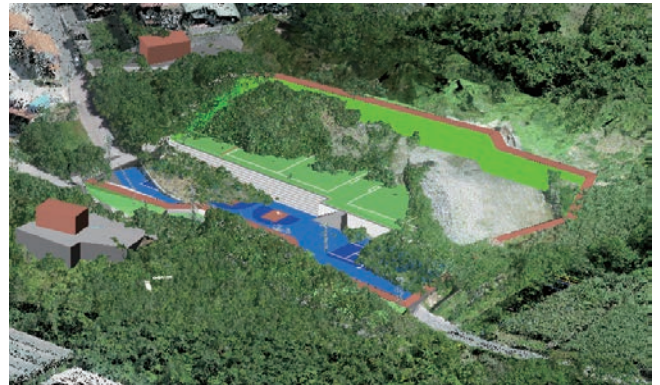
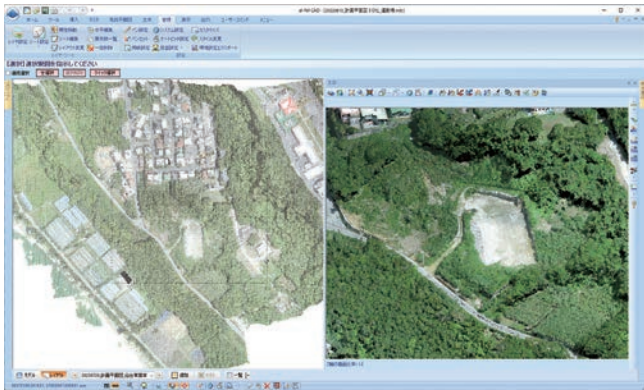


テキストは前ページのもの、画像はこのものを使用

2Dと3Dでの相互表示

2Dと3D ペイン画面を同時に表示することが可能です。

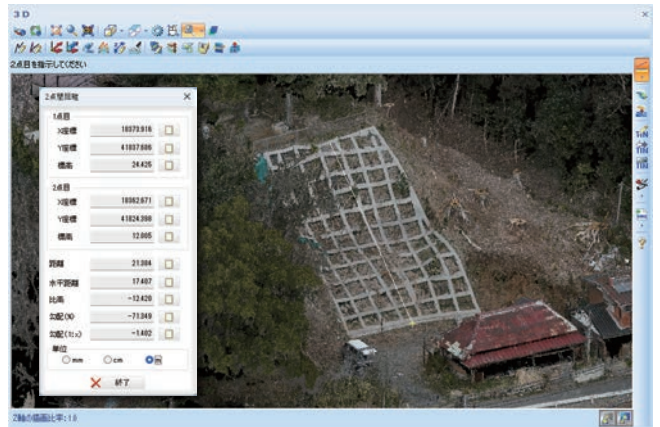
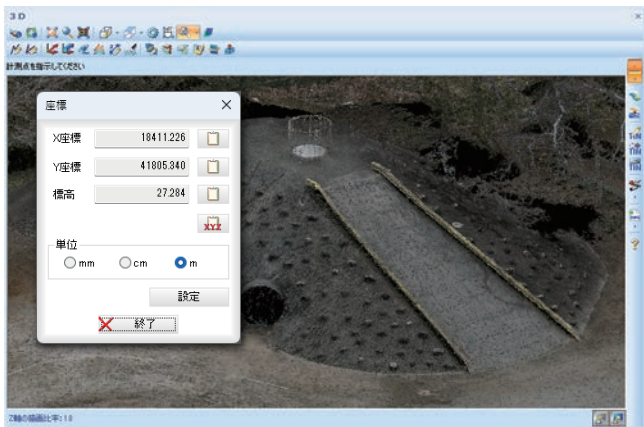
3D ペイン上で、点群データに 3D モデルを重ねて表示することが可能です。



点群スナップにて計測可能

点群座標値の確認が可能です。

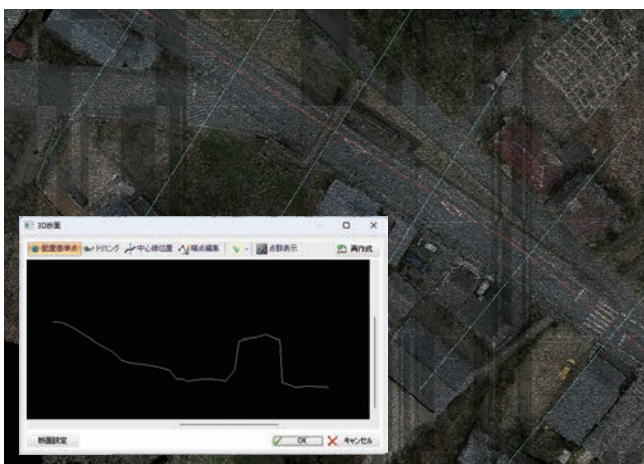
3D ペイン上で点群座標間の水平、斜距離、比高等の高低差計測が可能です。



3D断面作成機能

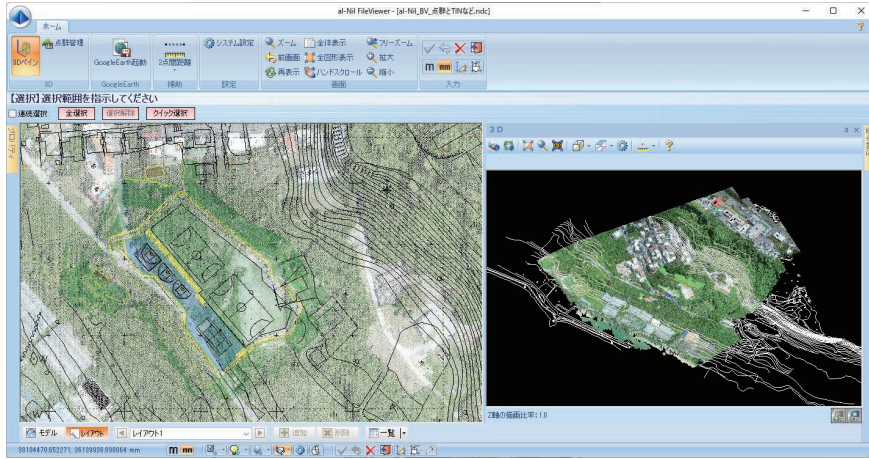
2D 図面の線形図形を指定し、指定ピッチ間の断面図作成が可能です。

2D 図面、3D ペインから 2 点指定で断面作成が可能です。



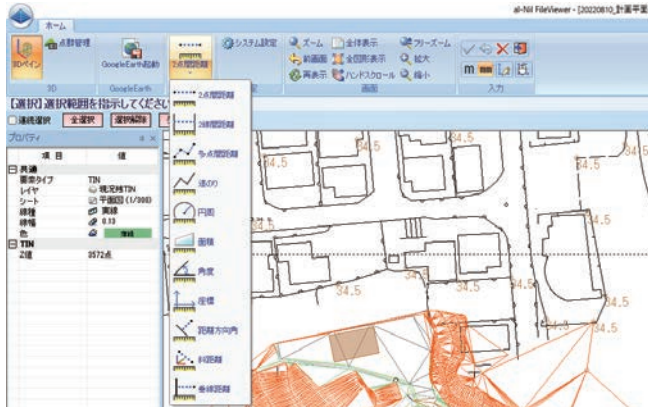
ファイルビューア出力

作成したデータをファイルビューア出力することで、BV Family がインストールされていない環境でもデータを表示することができます。また、2次元画面と3Dモデルを同時に表示することが可能です。

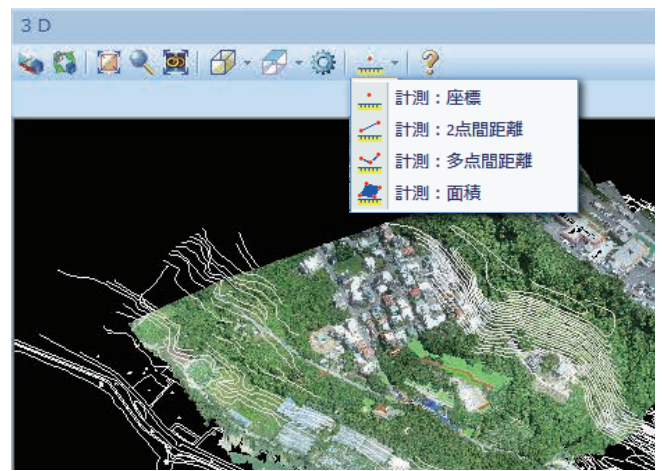


計測機能を搭載しており、2次元図面計測、3Dモデル計測を行うことが可能です。

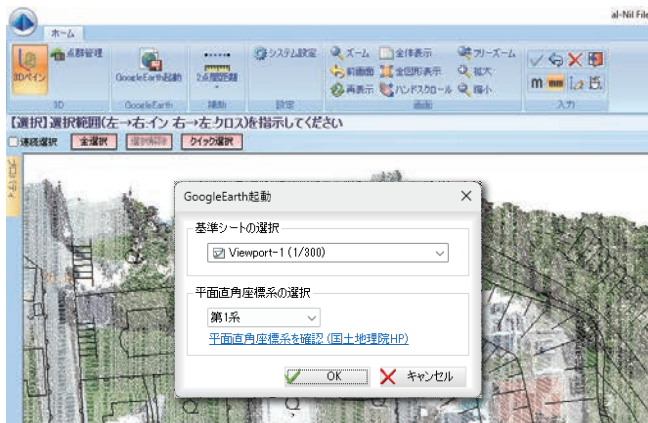
2D計測機能



3Dモデル計測



平面直角座標系を設定することで、GoogleEarth 上にビューアのデータを重ねて表示することができます。



©Google



iLEX Series

国土交通省では「LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準 (案)」(略称: J-LandXML) を制定し、道路事業、河川事業の設計及び工事において、CIM や i-Construction で必要となる 3 次元設計データの形式を LandXML 準拠として標準化することにより、詳細設計、施工、維持管理業務など、後の各工程での利活用を図ることを推進しています。

iLEX Series を使用した作業の流れ



Bigvan LandXML Editor

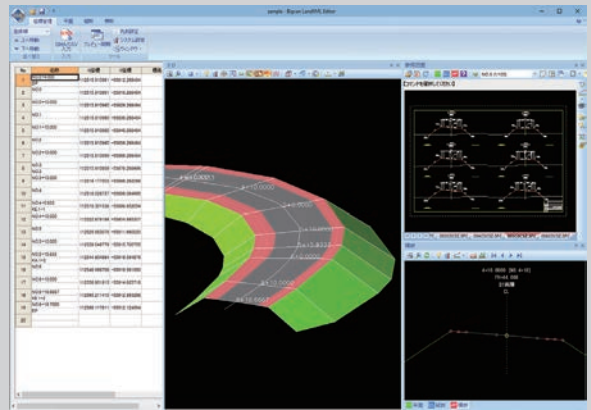
データ読み込み

LandXML1.2 に準拠した 3 次元設計データを読み込みます。「追加読み込み機能」で複数路線の編集も可能です。参照図面として 2 次元図面を読み込みます。

追加・編集

計画断面の各データ、現況断面の水平長・比高データの確認、編集および追加作成が行えます。2 次元図面から自動認識したデータをもとに横断データの作成、構成点接続、及び法面の切盛境や構造物との接合部などの横断データを追加作成することも可能です。

※ 座標や線形、縦断データの編集については各作成ソフトにて編集をお願いします。



Bigvan LandXML Checker

データ読み込み (スキーマチェック)

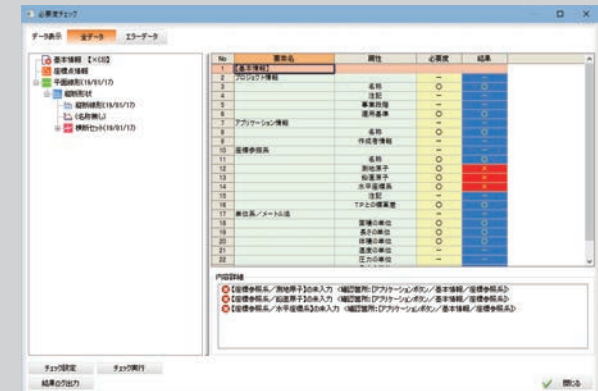
LandXMLデータを読み込む際、LandXMLデータの構文に問題が無いを確認します。

チェック (必要度・目視確認)

3 次元設計データ交換標準 (案) で使用する設計データとして必要なデータがそろっているかを確認します。

参照図面として読み込んだ 2 次元図面と整合が取れているか目視確認をします。

※ Bigvan LandXML Editor のライセンスがある場合、横断データの追加・編集など一部修正が可能になります。



Bigvan LandXML Viewer

確認 「LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準 (案)」に準拠したファイルの閲覧方法に対応しています。

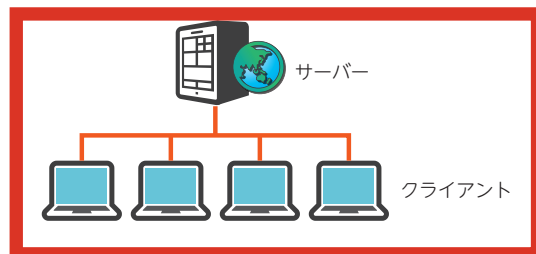
ネットワークライセンス 対応

ネットワーク

拠点内のネットワーク環境においてサーバーでライセンスを管理します。
クライアントはシステムユニット不要で契約ライセンス数まで同時に利用いただけます。

■ サーバー対応OS

Windows Server 2016、Windows Server 2019、
Windows Server 2022



年間保守契約について

操作説明からアフターケアまで、信頼の一貫システムで快適に利用いただくための保守サービス（有料）です。

年間保守契約の内容

■ サポート専用フリーダイヤル

操作手順などに関するお問い合わせの専用サポート回線を設置しております。

■ 最新版バージョンアップサービス

最新のバージョンが発売されましたらインターネットでダウンロード、また場合によってはディスクを送付いたします。

■ 最新版リビジョンアップサービス

最新のリビジョンをインターネットでダウンロード、また場合によってはディスクを送付いたします。

■ サポート専用ページ

サポート専用ページにて、最新版のリビジョン・マニュアルのダウンロードやご質問を受付けております。

受付時間 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
(土曜・日曜・祝日及びビッグバン社が定める休日を除く)

■ リモートコントロールによる遠隔サポート

インターネットを介してより具体的・視覚的なサポートを行います。



動作環境

- 対応CPU：1GHz以上の64bitプロセッサ以上（推奨Intel Core i3以上）
- OS：Windows 11
- メモリ：64bitOS 4GB以上（推奨16GB以上）
- ストレージ：256GB以上（推奨512GB以上）
- ディスプレイ：65,536色以上・解像度1280×768以上（推奨1440×900 WXGA+以上）
- その他：ディスクドライブ、マウスなどのポインティングデバイス、インターネット接続環境（推奨）
- サブスクリプション版：オプション機能の追加はございません。

Microsoft、Windows、Microsoft Officeは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
その他記載されている製品及び会社名は、各社の商標または登録商標です。掲載されている仕様は予告なしに変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

開発/販売元：



BIGVAN INC 株式会社 ビッグバン

本社/東京営業所 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-12 NKビル9F TEL 03-3851-2227 FAX 03-3851-2228
名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-8-24 オフィスオオモリ7F TEL 052-223-0307 FAX 052-223-0308
大阪営業所 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町7-26 EPOCH江坂ビル602 TEL 06-6385-5101 FAX 06-6385-5102
福岡営業所 〒830-0047 福岡県久留米市津福本町481-1 BV福岡ビル3F TEL 0942-65-7308 FAX 0942-65-7309
北陸営業所 〒918-8237 福井県福井市和田東1-1807 ビルズK203 (北陸営業所のTEL・FAXは本社までお願いします。)

ホームページ <https://www.bigvan.co.jp/>

販売代理店